

4～7R次期クラブ三役研修会

2019-2020 年

総合資料

●開催日：2019 年 6 月 16 日（日）

●日 程：登 録 受 付／13：00～13：30
全 体 会／13：30～14：30
分 科 会／14：40～15：40
全 体 会 議／15：50～16：50

●会 場：シーモールパレス



ライオンズクラブ国際協会 336-D地区
次期キャビネット事務局

目 次

● 4～7 R次期クラブ三役研修会来賓・講師・次期キャビネット名簿	2
● 4～7 R次期クラブ三役研修会出席者名簿	3・4
● 4～7 R次期クラブ三役研修会次第	5
● 4～7 R全体会議 席次	6
● 4～7 R会長分科会 席次	7
● 4～7 R幹事・会計分科会 席次	8
● L C I Fキャンペーン100について	9
● 国際会長紹介	10～12
● 国際協会について	13～19
● 2019～2020 年 ガバナー基本方針	20
● 2019～2020 年 ガバナーメッセージ	21・22
● 2019～2020 年 ロゴマーク	23
● 336 複合地区会則改正案について	24・25
● 地区運営及び奉仕活動の重点	26～30
● クラブ運営について	31
● クラブ周年記念について	32
● 地域の組織と役割・委員の任務について	33～36
● 2019～2020 年 委員会構成・略称表（案）	37
● キャビネットローテーションについて	38
● 336 複合地区組織表（案）・336-D 地区組織表（案）	
第 66 回地区年次大会運営組織表（案）	39～41
● 地区役員の連携活動について	42
● 336-D 地区 リジョン連絡会議ガイドライン	43
● 2019～2020 年 キャビネット活動計画（案）	44・45
● 2019～2020 年 ガバナー公式訪問日程（案）	46
● 取引銀行について	47
● 任務の代行（案）	48
● キャビネット旅費・慶弔規定について（案）	49
● 336-D 地区緊急援助資金規定	50
● 336-D 地区緊急援助資金規定に基づく	
委員長・委員の任命（案）について	51
● 各地区委員長・委員・リジョン割当表	52
● キャビネット役員業務分担表	53～57
● ガバナーズアワード（案）	58
● クラブ三役の使命について	59～63
● Y C Eについて	64～69
● I T環境について	70～76

4～7 R 次期クラブ三役研修会講師名簿

次期キャビネット参加者名簿

◎来賓・講師

氏 名	役 職 名	所属クラブ
谷野 徹	元 国 際 理 事	下 関 西
中林 嘉明	地 区 ガ バ ナ ー	光
大谷 博	複合地区GLTコーディネーター LCIF キャンペーン100 副エリアリーダー	岡 山
藤本 幸嗣	地 区 常 任 名 誉 顧 問	岩 国 桜
山根 健	地 区 名 誉 顧 問	防 府
守田 和彦	キャビネット幹事	光
松本 利幸	キャビネット会計	光
志賀 光法	I T 特別委員会委員長	宇部新川

◎次期キャビネット

氏 名	役 職 名	所属クラブ
福代 明正	地区ガバナーエレクト	出雲中央
澤 辰水	次期第一副地区ガバナー	下 関
矢田二三夫	次期キャビネット幹事	出雲中央
森山 茂	次期キャビネット会計	出雲中央
松岡寿一郎	次期キャビネット副幹事	下 関
日下 眞二	次期キャビネット副幹事	出雲中央

4～7R次期クラブ三役研修会 出欠表

	R	Z	所属クラブ	会 長		幹 事		会 計		
1	4R	1Z	岩 国	吉野 一正	○	佐藤 小百合	○	西村 一典	欠	2
2			岩 国 錦	下手 達也	○	岩崎 和彦	○	山口 秀敏	欠	2
3			岩 国 桜	片山 原司	○	坂田 王將	欠	井川 康秀	○	2
4		2Z	柳 井	畑谷 美行	○	村本 智	○	藤井 幸明	○	3
5			大 島	吉村 基	○	川中 辰宏	○	渋谷 秀樹	欠	2
6			田 布 施	城 英明	欠	木谷 行和	欠	北川 順弘	欠	0
7			柳 井 中 央	三上 俊樹	欠	永津 和代	欠	岩政 恭子	欠	0
8			大島オレンジ	石川 春美	欠	永本 隆道	欠	清水 正信	欠	0
9			平 生	富田 克敏	欠	大瀬戸 聡	○	竹野 英敏	欠	1
10			大 島 中 央	藤元 良哲	欠	林 茂樹	欠	木下 猪睦	欠	0
11	5R	1Z	下 松	山本 昌臣	○	嶋 員久	○	岡 秀樹	○	3
12			徳 山	岡本 富士昭	○	佐伯 信行	○	松尾 光治	欠	2
13			光	古川 雅之	○	清神 行宏	○	田中 孝	○	3
14			新 南 陽	井上 清孝	欠	友田 裕子	欠	山本 祐資	欠	0
15			徳 山 東	有熊 仁	欠	野田 佳裕	欠	平 由美子	欠	0
16			徳 山 中 央	兼田 公敏	○	山本 孝志	○	二家本 興治	○	3
17			下 松 中 央	井川 明美	○	松田 新一	○	小 椋 健	○	3
18			周 南	泉 美由紀	○	奥西 清益	欠	木村 泰岳	○	2
19			新南陽若山	小野 稔	○	盛貞 和見	○	森重 守	○	3
20		2Z	山 口	中野 太郎	○	柴田 尊明	○	村田 正幸	○	3
21			防 府	中原 達夫	欠	嶋谷 慎二	欠	小野 貴也	○	1
22			防 府 中 央	青木 一郎	欠	藤山 賢二	欠	寺尾 昭人	欠	0
23			山 口 西 京	神宮司 望	○	針間 芳昭	○	岡部 達矢	欠	2
24			山 口 中 央	渡辺 真己子	○	平田 雅典	欠	松原 健一	○	2

	R	Z	所属クラブ	会 長		幹 事		会 計		
25	6R	1Z	宇 部	原 ^{はら} 田 ^だ 毅 ^{たけし}	○	田 ^た 中 ^{なか} 英 ^{ひで} 巳 ^み	○	石 ^{いし} 原 ^{はら} 寛 ^{ひろし}	欠	2
26			宇部ときわ	歌 ^{うた} 川 ^{がわ} 直 ^{なお} 樹 ^き	欠	高 ^た 井 ^{かい} 輝 ^{てる} 明 ^{あき}	欠	仲 ^{なか} 田 ^た 眞 ^{しん} 一 ^{いち}	欠	0
27			宇 部 新 川	藤 ^ふ 井 ^{じい} 秀 ^{しゅう} 造 ^{ぞう}	○	中 ^{なか} 村 ^{むら} 彰 ^{あき} 臣 ^{おみ} (副幹事)	○	阿 ^あ 比 ^び 留 ^る 洋 ^{よう} 一 ^{いち}	○	3
28			宇 ^部 カ ^た タ ^ば ミ	猶 ^な 克 ^{かつ} 実 ^み	欠	御 ^み 手 ^た 洗 ^{らい} 信 ^{のぶ} 行 ^{ゆき}	○	高 ^{こう} 野 ^の 典 ^{のり} 介 ^{すけ}	○	2
29			宇 ^部 サ ^ル ビ ^ア	清 ^{しみ} 水 ^ず 正 ^{まさ} 俊 ^{とし}	○	鶴 ^{つる} 谷 ^{たに} 孝 ^{こう} 二 ^じ	欠	幡 ^{はた} 生 ^ぶ 広 ^{ひろ} 彰 ^{あき}	欠	1
30			宇 ^部 ハ ^ー モ ^ニ ー	中 ^{なか} 尾 ^お 敦 ^{あつ} 子 ^こ	○	河 ^{かわ} 野 ^の 幸 ^{さち} 恵 ^え	欠	杉 ^{すぎ} 本 ^{もと} 米 ^よ 子 ^{ねこ}	○	2
31		2Z	小 野 田	石 ^{いし} 部 ^べ 智 ^{とも} 子 ^こ	○	河 ^{こう} 内 ^{うち} 徹 ^{てつ} 彦 ^{ひこ}	○	戎 ^{えびす} 谷 ^{たに} 知 ^{とも} 之 ^{ゆき}	欠	2
32			美 祢	原 ^{はら} 田 ^だ 一 ^{かず} 馬 ^ま	○	俵 ^た 克 ^{かつ} 彰 ^{あき}	○	白 ^{しら} 松 ^{まつ} 万 ^{まん} 司 ^じ	欠	2
33			山 陽	森 ^{もり} 田 ^た 栄 ^{えい} 一 ^{いち} 郎 ^{ろう}	○	光 ^{みつ} 永 ^{なが} 武 ^{たけし}	○	友 ^{とも} 永 ^{なが} 周 ^{しゅう} 一 ^{いち}	○	3
34			楠	福 ^{ふく} 嶋 ^{しま} 智 ^{とも} 道 ^{みち}	○	川 ^{かわ} 口 ^{くち} 栄 ^{えい} 実 ^じ	欠	山 ^{やま} 尾 ^お 泰 ^{たい} 作 ^{さく}	欠	1
35		3Z	萩	廣 ^{ひろ} 畑 ^{はた} 雅 ^{まさ} 弘 ^{ひろ}	○	中 ^{なか} 屋 ^や 政 ^{まさ} 浩 ^{ひろ}	○	大 ^{おお} 嶋 ^{しま} 匡 ^{あつ} 史 ^し	○	3
36			長 門	中 ^{なか} 原 ^{はら} 晃 ^{あき} 弘 ^{ひろ}	○	河 ^{かわ} 村 ^{むら} 誠 ^{せい} 治 ^じ	○	村 ^{むら} 川 ^{かわ} あかね	○	3
37			秋 芳	前 ^{まえ} 田 ^だ 明 ^{あき}	欠	下 ^{した} 井 ^い 克 ^{かつ} 己 ^み	欠	植 ^{えき} 木 ^き 直 ^{なお} 也 ^や	欠	0
38	7R	1Z	下 関	大 ^{おお} 石 ^{いし} 眞 ^{まさ} 嗣 ^し	○	最 ^も 上 ^{がみ} 進 ^{しん} 一 ^{いち}	○	浦 ^{うら} 野 ^の 幸 ^{こう} 司 ^じ	欠	2
39			下 関 東	青 ^あ 木 ^{おき} 伸 ^{しん} 一 ^{いち}	欠	中 ^{なか} 尾 ^お 千 ^ち 代 ^よ 美 ^み	○	平 ^{ひら} 井 ^い 明 ^{あき}	欠	1
40			下 関 西	貞 ^{さだ} 金 ^{かね} 宗 ^{むね} 憲 ^{のり}	○	桑 ^く 原 ^{はら} 昌 ^{まさ} 彦 ^{ひこ}	○	植 ^う 田 ^{えだ} 則 ^{のり} 夫 ^お	○	3
41			下 関 長 府	小 ^こ 林 ^{ばやし} 英 ^{ひで} 樹 ^き	欠	磯 ^{いそ} 部 ^べ 正 ^{まさ} 明 ^{あき}	欠	黒 ^{くろ} 川 ^{かわ} 直 ^{なお} 樹 ^き	欠	0
42			下 関 北	宝 ^{たから} 辺 ^べ 成 ^{せい} 二 ^じ 郎 ^{ろう}	○	宮 ^{みや} 川 ^{かわ} 誠 ^{せい} 士 ^し	○	荻 ^{おぎ} 野 ^の 利 ^{とし} 浩 ^{ひろ}	○	3
43			下 関 響 灘	福 ^{ふく} 田 ^た 幸 ^{ゆき} 博 ^{ひろ}	○	福 ^{ふく} 富 ^{とみ} 征 ^{いく} 男 ^お	○	弘 ^{ひろ} 中 ^{なか} 輝 ^{てる} 夫 ^お	○	3
44			下 関 新 下 関	藤 ^ふ 田 ^{じた} 義 ^{よし} 人 ^と	欠	栄 ^{さか} 友 ^{とも} 弘 ^{ひろ}	○	田 ^た 中 ^{なか} 邦 ^{くに} 昭 ^{あき}	欠	1
45			下 関 維 新	山 ^{やま} 野 ^の 和 ^{かず} 彦 ^{ひこ}	○	福 ^{ふく} 島 ^{しま} 清 ^{きよ} 和 ^{かず}	欠	大 ^{おお} 鹿 ^{しか} 眞 ^ま 弓 ^{ゆみ}	欠	1
46		2Z	豊 浦	福 ^{ふく} 田 ^た 敦 ^{あつ} 志 ^し	○	古 ^{ふる} 田 ^た 登 ^{のぼ} る	○	佐 ^さ 々 ^さ 木 ^き 勇 ^い 魚 ^{さな}	欠	2
47			豊 田 山 口	木 ^き 本 ^{もと} 暢 ^{よう} 一 ^{いち}	欠	小 ^こ 松 ^{まつ} 治 ^{はる} 男 ^お	欠	渡 ^{わた} 邊 ^{なべ} 直 ^{なお} 之 ^{ゆき}	欠	0
48			菊 川	植 ^う 田 ^{えだ} 哲 ^{てつ} 也 ^や	欠	三 ^み 宅 ^{やけ} 和 ^{かず} 美 ^み	欠	清 ^{しみ} 水 ^ず 剛 ^{たけ} 文 ^{ふみ}	欠	0
49			豊 北	吉 ^{よし} 田 ^だ 眞 ^{しん} 次 ^じ	○	竹 ^{たけ} 田 ^だ 義 ^{よし} 男 ^お	欠	安 ^{やす} 富 ^{どみ} 伸 ^{しん} 一 ^{いち}	欠	1
50			下 関 中 央	本 ^{ほん} 藤 ^{とう} 展 ^{のぶ} 康 ^{やす}	○	梶 ^{かじ} 原 ^{はら} 康 ^{やす} 弘 ^{ひろ}	○	仁 ^に 井 ^い 眞 ^{しん} 司 ^じ	○	3

33

29

21 83

次期クラブ三役研修会(4～7R)次第

日 時 : 2019年6月16日(日) 13:30～16:50
 登録受付 : 13:00～13:30
 場 所 : シーモールパレス

全体会		13:30～14:30
		司会／次期キャビネット幹事 矢田二三夫
1. 開会のゴング	地区ガバナーエレクト	福代 明正
2. 国旗に敬礼		
3. 国歌斉唱		
4. ライオンズクラブの歌斉唱		
5. 講師及び次期キャビネット構成員の紹介	次期キャビネット幹事	矢田二三夫
6. 挨拶	地区ガバナー	中林 嘉明
7. LCIFキャンペーン100について	複合GLTコーディネーター LCIFキャンペーン100副エグゼクティブ	大谷 博
8. 挨拶並びに地区運営基本方針	地区ガバナーエレクト	福代 明正
9. 研修会の説明	次期キャビネット幹事	矢田二三夫

～ 休憩・移動 (10分) ～

分科会		14:40～15:40
会長分科会		司会／次期キャビネット幹事 矢田二三夫
会長の使命について (20分)	講師 地区ガバナー	中林 嘉明
(15分)	講師 地区ガバナーエレクト	福代 明正
(15分)	講師 地区常任名誉顧問	藤本 幸嗣
質疑応答 (10分)		
幹事・会計分科会		司会／次期キャビネット会計 森山 茂
幹事の任務について (25分)	講師 キャビネット幹事	守田 和彦
会計の任務について (25分)	講師 キャビネット会計	松本 利幸
質疑応答 (10分)		

～ 休憩・移動 (10分) ～

全体会議		15:50～16:50
		司会／次期キャビネット幹事 矢田二三夫
1. クラブ三役の使命について	地区ガバナー	中林 嘉明
2. YCEについて	地区名誉顧問	山根 健
3. IT環境について	IT特別委員会委員長	志賀 光法
4. ご指導	元国際理事	谷野 徹
5. 閉会のゴング	地区ガバナーエレクト	福代 明正

4～7R次期クラブ三役研修会 全体会議席次

13:30～14:30 (全体会)
15:50～16:50 (全体会議)

【於:エメラルド】

次期キャビネット幹事
矢田 一二三 夫
次期キャビネット会計
森山 茂
次期キャビネット副幹事
松岡 寿一郎
次期キャビネット副幹事
日下 眞二

地区名誉顧問
山根 健
地区常任名誉顧問
藤本 幸嗣
複合地区GLTコーディネーター
LCIFキャンベーン1000副エリアリーダー
大谷 博
元国際理事
谷野 徹
地区ガバナー
中林 嘉明
地区ガバナーエレクト
福代 明正
次期第一副地区ガバナー
澤 辰水
キャビネット幹事
守田 和彦
キャビネット会計
松本 利幸
IT特別委員会委員長
志賀 光法

司 会

自 由 席

入
口

4～7R次期クラブ三役研修会 会長分科会席次

14:40～15:40(会長分科会)

【於:ルビー】

地区常任名誉顧問	地区ガバナーエレクト	地区ガバナー	元国際理事	次期キャビネット幹事	次期キャビネット副幹事
藤本 幸嗣	福代 明正	中林 嘉明	谷野 徹	矢田 二三夫	松岡 寿一郎

自由席

入口

4～7R次期クラブ三役研修会 幹事・会計分科会席次

14:40～15:40(幹事・会計分科会)

【於:エメラルド】

次期キャビネット会計 森山 茂 司 会	次期キャビネット副幹事 日下 眞二	IT特別委員会委員長 志賀 光法	地区名誉顧問 山根 健	次期第一副地区ガバナー 澤 辰水	複合地区GLTコーディネーター LCIFキャンベーン1000副エリアリーダー 大谷 博	キャビネット幹事 守田 和彦	キャビネット会計 松本 利幸
---------------------------	----------------------	---------------------	----------------	---------------------	---	-------------------	-------------------

自由席

入口

各地区ガバナー各位

各地区ガバナーエレクト各位

キャンペー100 副エリアリーダー

大谷 博

LCIF キャンペーン 100 ご協力お願い

前略

日頃は、LCIF へ多大なご協力を賜り、誠にありがとうございます。

早速ですが、既に皆様もご存知の通り『LCI 国際協会』と『LCIF 国際財団』は、今やライオンズクラブと言う車の両輪～と言われています。西日本豪雨災害発生時には、緊急援助金としていち早く 30 万ドルもの資金が交付され、日本全国より 1 人 1000 円の寄付を頂きました。各地において支援活動に有効に活用されました。

このように、世界各地で展開されるライオンズクラブの活動資金となっていますのが、LCIF に送られた皆様方からの寄付金です。ところが現在、年間の交付金額が寄付金額を上回っている状態が続いており、この活動資金を確保する為に**キャンペー100**が始まりました。

このキャンペーンは、**会員一人当たり年間 100 ドルを寄付する事によって**、災害への支援、ライオンズクエストや子供たちの貧困への支援、環境保全、糖尿病や白内障等の病気で苦しむ人々への支援など **LCI フォワードの活動資金**に充てるためのものです。

MD336 では目標達成率がまだまだ 100 パーセントに達成していません、改めてメンバーの皆様にご要請のほどよろしくお願いいたします。

あなたの 100 ドルで 100 人もの子供達に「はしかの予防接種」が可能となります。

また、ガバナーエレクトの皆様におかれましては地区の研修会に是非とも私を参加させていただきメンバの一皆様方にご説明させていただきますようご協力の程よろしくお願いいたします。

草々

【次期国際会長・次期第一副会長・第二副会長の紹介】

ジュンヨル・チョイ次期国際会長
(韓国・釜山出身)



ヘインズ・H・タウンゼンド次期第一副会長
(ジョージア州・ダルトン出身)



ブライアン・E・シーハン次期第二副会長
(ミネソタ州・バードアイランド出身)



ジュンヨル・チョイ
第一副会長

ジュンヨル・チョイ（韓国・釜山）は、2018年6月29日から7月3日にかけて米国ネバダ州ラスベガスで開催された第101回国際大会で、ライオンズクラブ国際協会の第一副会長に選出された。

1977年に釜山第一ライオンズクラブに入会して以来、クラブ会長、キャビネット幹事、地区ガバナー、国際理事など、数多くの役職を歴任。DGEグループリーダーも複数回務めたほか、国際理事会でも11の委員会でメンバーを務めてきた。これに加え、2000年の第39回OSEALフォーラムでは委員長、ライオンズ史上最大の大会となった2012年の第95回釜山ライオンズクラブ国際大会ではホスト委員長を引き受けた。

国際協会への貢献が認められ、チョイ副会長はこれまでに、人道支援パートナー賞、シニアマスターキー賞、100%地区ガバナー賞、国際会長リーダーシップ・アワード、国際会長賞、さらに国際協会から会員に与えられる最高の栄誉である親善大使賞など、多くのアワードを受賞している。累進メルビン・ジョーンズ・フェローでもある。

ライオンズでの活動に加え、チョイ副会長は国際貿易会社コアラ商事の最高経営責任者であり、釜山広域市体育会の元理事。

スンボク夫人とのあいだには一男四女と、二人の孫がいる。

R 7/18

次期国際会長方針

【 We Serve through “Diversity” 】

「多様性を通じて奉仕する」

「スペシャルティクラブ」

ライオンズクラブは地域社会の幅広いニーズに応えています。特に最近では、趣味や社会属性といった共通点を持つ仲間や、一つの奉仕分野のために集まった有志で結成されるクラブが増えています。スペシャルティクラブは、共通の趣味や関心事をもつコミュニティにつながる機会を与えます。それによって会員数が増えれば、ライオンズクラブは一層大きな奉仕を行うことができます。

「幅広い年齢層のメンバー」

ライオンズクラブにはあらゆる文化背景、社会属性、年代のメンバーが集まっています。今年度、若者にも高齢者にも奉仕に参加してもらうことで、私たちは今日、そして明日のクラブを元気づけることができます。人々を一つにし、それぞれのスキルや経験を活用しつつ、あらゆる人が入りやすいクラブづくりを目指すのであれば、この世代を超えたアプローチは欠かせません。

「グローバル重点分野」

ライオンズクラブが世界規模で取り組む新たな奉仕分野が発表されたことで、人類が直面する最も切迫した課題に、世界中のライオンズクラブが一丸となって立ち向かう新たな機会が生まれました。今年度は、すべてのクラブに、自分たちの奉仕事業の範囲を広げ、用意されたリソースを活用して、これまで以上に大きな貢献を地域社会にするよう呼びかけてまいります。

「奉仕の道のり」

学ぶ、発見する、行動する、祝う。これが新登場「奉仕の道のり」の四段階です。「奉仕の道のり」は、ライオンズクラブがグローバル重点分野にまつわるさまざまな情報資料にアクセスし、奉仕のインパクトをさらに拡大することのできる、包括的な道具です。私たちは、奉仕する時、成長します。そして、私たちは決して歩みを止めてはならないのです。

「国際財団の支援」

キャンペーン 100 は、ライオンズクラブ国際財団が 3 億ドル達成を目指す 3 年間の資金獲得キャンペーン。世界中のライオンズクラブの奉仕に力を与えることが目的です。キャンペーン 2 年目に突入する今年、一人ひとりにできる範囲での寄付を勧めることで、勢いを保ちたいところです。私たちが力を合わせれば、ライオンズクラブを最も必要とする地域社会に、長期的な変化と、いつまでも残る希望をもたらすことができるのです。

*国際会長 崔 重烈 Jung Yul Choi ジュンヨル・チョイ 韓国釜山 イタリア ミラノ 102.Th 国際大会で承認予定

*第1副会長 ヘインズ・H・タウンゼント アメリカ ジョージア州ダルトン //

*第2副会長 ブライアン・E・シーハン アメリカ ミネソタ州 //

*第3副会長 立候補者多数 // 投票の結果で決定

ライオンズクラブは1917年 USAメルビン・ジョーンズの呼掛けでシカゴ市で初会合から始まった。1 昨年2017年 100周年を迎えました。国際本部は USAイリノイ州オークブルック、が所在地です。

国際協会・LCI …The International Association of Lions Clubs の略称

役員構成・会長・前会長・第1副会長・第2副会長・第3副会長（以上執行役員）国際理事・地区ガバナー・運営役員・この他元国際役員から構成される国際理事会アポインTEE…通常6人前後任命される、この方は理事会の表決権は無い。国際理事は34名で毎年半数が改選される。…つまり任期は2年で、1年理事・2年理事となる。

※日本から選出の国際理事…世界7会則地域のV. 東洋東南アジア・フォーラム (OAEAL FORUM)

(日本・韓国・台湾・フィリピン・香港・中国・タイ・マレーシア・シンガポール他) の代表

*2年理事	332-D	あんざわ 安澤	そういち 莊一	白河小峰LC	336-D	さかね 坂根	まさる 勝 (松江LC))	と同期ガバナー
*1年理事	333-E	かわしま 川島	まさゆき 正行	土浦北LC	336-D	あきた 秋田	ちずる 千鶴 (浜田LC)	//
*1年理事	336-B	わたなべ 渡部	まさふみ 雅文	倉敷西LC	336-D	おかむら 岡村	せいじ 聖爾 (下関北LC)	//

*LCIF 財団理事長・前国際会長 グドラン・イングバドター アイスランド

※LCI から互選された、日本からの理事

*LCIF 理事	やまだ 山田	じつひろ 実紘	美濃加茂LC (元国際会長)	336-D	かとう 加藤	てつお 哲夫 (出雲中央LC) と同期ガバナー
*LCIF 理事	かやもり 栢森	しんじ 新治	名古屋ウエストLC (元国際理事)	336-D	やまね 山根	けん 健 (防府LC) //
*LCIF 理事	すずき 鈴木	ちかお 誓男	豊田ルネッサンスLC (元国際アポインTEE)	336-D	たにの 谷野	とおる 徹 (下関西LC) // (元国際理事)

ライオンズクラブ国際財団・LCIF…Lions Clubs International FOUNDATION の略称

LCIFは1968年 LCIに依って設立され、本年2019年創51年を迎えています。

役員人事は、理事長… LCI前国際会長・LCI執行役員（国際会長・1～3副会長）各地区代表7名・特定地域アフリカ代表1名・過去3年間上位2か国代表2名・過去3年間平均で1人当りの寄付金上位3か国の代表3名・過去2年間のLCIF理事長2名（内前LCIF理事長は副理事長となる）・国際会長任命2人（1人は元国際会長、1人は元国際理事）

合計 22名の運営です。

日本ライオンズクラブは現在一般社団法人日本ライオンズ、8複合、330～337複合地区、35準地区で構成1952年フィリピン・マニラLC のスポンサーに依って東京LC結成以来、3016 クラブ 115,713名の会員を擁しています。

(2019.3.31. 国際協会集計)

336-D地区…2019～2020年度体制.

* 336 複合地区ガバナー協議会議長 ^{はしもと}橋本 ^{みつよし}充好 336-A 高知柏LC 336-D ^{やの}矢野 ^{としあき}敏明 (松江葵LC) と同期ガバナー
336複合地区・準地区 336-A (徳島・高知・香川・愛媛) 336-B (鳥取・岡山) 336-C(広島) 336-D (島根・山口)

* 336-D地区ガバナー ^{ふくしろ}福代 ^{あきまさ}明正 (出雲中央LC) 2R-2Z MD. 336 ガバ協 副議長兼任
* 地区名誉顧問会議長 ^{なかばし}中林 ^{よしあき}嘉明 (光LC) 5R-1Z 336-D 前ガバナー
* 第1副地区ガバナー ^{さわ}澤 ^{たつみ}辰水 (下関LC) 7R-1Z
* 第2副地区ガバナー ^{つばうち}坪内 ^{みきお}幹雄 (松江湖城LC) 1R-2Z LCIF キャンペーンコーディネーター兼任
* キャビネット幹事 ^{やだ}矢田 ^{ふみお}二三夫 (出雲中央LC) 2R-2Z MD. 336 ガバ協 事務局運営委員兼任
* キャビネット会計 ^{もりやま}森山 ^{しげる}茂 (出雲中央LC) 2R-2Z
* 地区会計監査委員 ^{きくがわ}菊川 ^{たかき}尊樹 (岩国錦LC) 4R-1Z
* “ ^{こたに}小谷 ^{のりひろ}典弘 (浜田LC) 3R-2Z

* 島根 1R～3R・山口 4R～7R・1～7R. 7名のRC Region Chairperson

16Z. 1R～3R 7名の4R～7R 9名のZC Zone Chairperson

* 年次大会委員長 内村 順亮 (出雲中央LC) 2R-2Z
* LCIF コーディネーター 福代 明正 地区ガバナーが兼任
* LCIFキャンペーンコーディネーター ^{さわ}澤 ^{たつみ}辰水 第1副地区ガバナーが兼任
* GLTコーディネーター ^{おおの}大野 ^{よしお}美雄 (松江LC) 1R-2Z
* GMTコーディネーター ^{かねだ}金田 ^{かんじ}寛治 (岩国錦LC) 4R-1Z
* GSTコーディネーター ^{かねだ}神田 ^{よしみつ}義満 (防府LC) 5R-2Z 5R-RC兼任
* FWTコーディネーター ^{やまさき}山崎 ^{もとみ}もとみ (大田LC) 3R-1Z * FWT副コーディネーター ^{うたこ}佐々木歌子 (新南陽若山LC) 5R-1Z
* MC委員長 (獅子吼編集委員長) ^{おおた}太田 ^{くにお}邦夫 (出雲中央LC) 2R-2Z
* 国際関係委員長 ^{もりた}守田 ^{かずひこ}和彦 (光LC) 5R-2Z
* YCE委員長 ^{しいのき}椎木 ^{いちそう}一三 (徳山LC) 5R-1Z 5R委員兼任
* 保健福祉環境保全委員長 ^{はせがわ}長谷川 ^{じゅんこ}順子 (東出雲LC) 1R-1Z 1R委員兼任
* 青少年健全育成委員長 ^{ほりえ}堀江 ^{やすすけ}康輔 (横田LC) 2R-3Z 2R委員兼任
* IT特別委員会委員長 ^{しが}志賀 ^{みつのり}光法 (宇部新川LC) 6R-1Z
* 複合地区IT特別委員 ^{おおき}大木 ^{ひさゆき}寿之 (松江葵LC) 1R-2Z

※ クラブ3役研修会の会議資料として、直接関係ある方々のみ記載しています。

イタリア・ミラノでの (102. Th. 国際大会開催日、2019. 7. 5～ 9.)

国際大会前に作成の為、国際関連に若干変更が生じる事もあります。

各RC, ZC, 各副委員長及びYCE, 保健福祉・青少年健全育成委員名は 336-D 地区組織表を参照下さい。

2019(R. 1)5. 31. 現在.

文責 山根 健

国際協会について

国際協会本部所在地

The International Association of Lions Clubs

300W. 22nd Street, Oak Brook, Illinois 60523-8842, U.S.A

シカゴのダウンタウンから西へ 30 キロ、空港から 20 数キロの場所に
位置している

歴史年表

- a) 1917 年（大正 6 年）6 月 7 日
メルビン・ジョーンズ氏の呼びかけによって、アメリカ合衆国各地から
約 20 名の代表が集まり、シカゴ市のホテル・ラサールで初会合を行った。
- b) 1917 年（大正 6 年）10 月 8 日から 10 日
22 クラブの代表者 36 名がダラス市のアドルフ・ホテルに集まって、
第 1 回の大会を開催し、「ライオンズクラブ協会」が設立された。
- c) 1920 年（大正 9 年）3 月 12 日
カナダ・オンタリオ州ウインザー市にアメリカ合衆国以外の最初のクラブが
結成され「ライオンズクラブ国際協会」となった。
- d) 1925 年（大正 14 年）6 月 29 日から 7 月 2 日
第 9 回国際大会（アメリカ・オハイオ州）において、ヘレン・ケラーが
「盲人のために暗闇と闘う騎士」となってほしいと訴えて以来、視覚障害者を
助け、眼を守る運動は我々の奉仕活動の大きな柱となった。
- e) 1952 年（昭和 27 年）3 月 5 日
フィリピンのマニラ LC が東京 LC を結成、3 月 21 日にチャーターナイトを
外国人メンバー 20 名を含めて 57 名で挙行了した。
- f) 1981 年（昭和 56 年）6 月
第 64 回国際大会（アメリカ・アリゾナ州）で、村上 薫氏（京都）が国際会長就任。

1981-1982 年 故 村上 薫（京都）

2015-2016 年 山田 實紘（美濃加茂）

日本から選出された国際第一副会長

1989-1990 年 故 小川 清司（東京渋谷）

スローガン

「Liberty Intelligence Our Nation's Safety」
自由を守り、知性を重んじ、われわれの国の安全をはかる

モットー

「We Serve」われわれは奉仕する
主語が「私」ではなく「われわれ」の複数の皆が
力を合わせて 助け合いの精神で 人道奉仕を行う

会員数

世界のライオンズクラブ (2019. 3. 31現在)
クラブ数 48,401
会員数 1,459,012
日本のライオンズクラブ (2019. 3. 31現在)
クラブ数 3,012
会員数 115,713

国際大会開催地

2018年 第101回	ネバダ州 ラスベガス
2019年 第102回	イタリア ミラノ
2020年 第103回	シンガポール
2021年 第104回	カナダ モントリオール
2022年 第105回	インド ニューデリー
2023年 第106回	マサチューセッツ州 ボストン
2024年 第107回	オーストラリア メルボルン
2025年 第108回	メキシコ

東洋東南アジア・フォーラム (OSEAL FORUM) 開催地

2018年 第 57回	中国 海南島
2019年 第 58回	日本 広島
2020年 第 59回	韓国 済州島
2021年 第 60回	フィリピン マニラ

国際理事候補者経歴書(2019～2021)



氏 名

わた なべ まさ ふみ
渡 部 雅 文

生年月日 1948年11月23日 70歳
現住所 〒710-0251 岡山県倉敷市玉島長尾210-9
電話 086-522-5677 e-mail watan7271@yahoo.co.jp
勤務先 有限会社 ホクト 代表取締役
住所 〒714-1225 岡山県小田郡矢掛町浅海2518-1
電話 0866-82-9610 FAX 0866-82-9611

【ライオン歴】

1993年8月 倉敷西LC入会
2007年7月～2008年6月 クラブ会長
2009年11月～2010年6月 336-B地区4R リジョンチェアパーソン
2010年7月～2011年6月 第二副地区ガバナー、マール副委員長
2011年7月～2012年6月 第一副地区ガバナー、GMT地区コーディネーター
2011年4月 講師育成研究会(FDI) フィリピン・マニラ
2012年7月～2013年6月 336-B地区ガバナー
2013年7月～2014年6月 336複合地区協議会議長、前地区ガバナー、地区名誉顧問会議長
2014年7月～2015年6月 前協議会議長、地区名誉顧問、GMT複合地区コーディネーター
2015年7月～2016年6月 元協議会議長、地区名誉顧問、GMT複合地区コーディネーター
2016年7月～2017年6月 元協議会議長、地区名誉顧問、GMT複合地区コーディネーター
2017年7月～2018年6月 元協議会議長、地区名誉顧問、LCIF地区コーディネーター
2018年7月～ 元協議会議長、地区名誉顧問、LCIF地区キャンペーンコーディネーター

【ライオンズ受賞歴】

メンバーシップキー賞
2007年～2008年度クラブ会長優秀賞
2007年～2008年度クラブ会長クリスタルアワード（会員増強）
国際会長感謝状
エクステンション・アワード
国際会長リーダーシップアワード
国際会長賞
国際会長賞(2012～2013年度ウィナーズ・サークルアワード金賞)
MJF(27回)

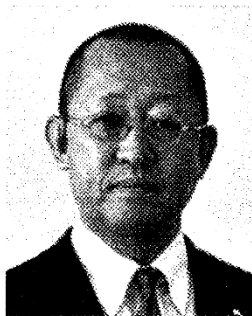
【役職他】

岡山県臓器バンク 理事
倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会 副会長
玉島長尾中自衛消防隊
倉敷市 民生委員・児童委員

【大会参加】

OSEAL 海南島・台南・高雄・他計9カ所
国際大会 ラスベガス・釜山・ドイツ他計8カ所

2019-2021年度 国際理事候補者 プロフィール



氏 名 **L 川島 正行** (かわしま まさゆき)

所 属 333-E地区 4R 1Z 土浦北ライオンズクラブ

生年月日 1960年12月 1日 (58歳)

現 住 所 〒315-0054 茨城県かすみがうら市稲吉3-7-60

現 職 株式会社 いっしん 代表取締役

株式会社 かわしまコーポレーション 代表取締役

株式会社 ケアスター 代表取締役

株式会社 双心 会長

現 役 職 NPO茨城グループホーム協会 代表理事

社会福祉法人 一行会 理事長

【賞罰】

障がい者スポーツの振興 (財団法人日本障害スポーツ協会より)

県立高校の音楽教育また被災地域における教育活動 (茨城県教育委員会教育長より)

防衛基盤の育成・陸上自衛隊の充実発展 (陸上自衛隊陸将より)

地域福祉の向上に貢献 (かすみがうら市長より)

レスリング事業運営に貢献 (茨城県レスリング協会より)

【ライオン歴】

1990年 土浦北ライオンズクラブ入会

1993年～94年 クラブ会計

2002年～03年 第25代会長

2006年～07年 4R地区委員

(LCIF・薬物乱用防止・青少年健全育成・地区四献)

2007年～08年 地区委員長

(薬物乱用防止・社会福祉・環境保全・地区四献)

2010年～11年 4R 1Z ゾーン・チェアパーソン

2012年～15年 地区GMTコーディネーター

2015年～16年 333-E地区 第2副地区ガバナー

2016年～17年 333-E地区 第1副地区ガバナー

2016年 7月 セカンド センチュリー アンバサダーとなる

2017年～18年 333-E地区 地区ガバナー

【ライオンズ関連研修】

ALLI 上級ライオンズリーダーシップ研究会(Bangkok)修了

FDI ライオンズ講師育成研究会(Nagoya)修了

【ライオンズ関連受賞歴】

LCIF リードギフト \$ 100,000 誓約・実施済

メルビン・ジョーンズ・フェロー 154回

ヒューマニタリアン・パートナー

メンバーシップ アドバンスメントキー賞

国際会長賞 2回

国際会長感謝状 5回

地区ガバナーアワード 8回

複合地区議長アワード 1回

LCIF国際財団理事長アワード 4回

【大会参加歴】

OSEAL 10回

(台湾・フィリピン・福岡・シンガポール・仁川・バンコク等)

国際大会 9回

(香港・大阪・釜山・ハンブルグ・ホノルル等)



公式通達

2019 国際大会 イタリア・ミラノ

以下の国際会則改正案が 2019 年国際大会において提出され、
代議員による票決の対象となります。

第 1 項：アフリカという新しい会則地域を設け、アフリカを代表し各偶数年に選出される 1 名の新国際理事を加えるとともに、ISAAME という会則地域を ISAME に改名し、会則地域を番号順に列記するための改正案。
(会則に対するこの改正案の可決には 3 分の 2 の賛成票が必要)

下記の改正案を承認すべきか？

国際会則第 5 条第 3 項の既存の文言を全文削除し、以下の文言と差し替えることにより、同項を改正する。

第 3 項：国際理事会の会則地域別構成及び選挙。国際理事会は、会長、前会長、第一、第二、及び第三副会長、並びに、下記の通りに選出される理事で構成される。

各偶数年に 18 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 5 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 3 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 4 人、オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア及び南太平洋諸島のクラブから 1 人、アフリカから 1 人を選出するものとする。

各奇数年に 17 人の理事、すなわち米国及びその領域、バミューダ、バハマ諸島のクラブから 6 人、カナダのクラブから 1 人、南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島のクラブから 1 人、ヨーロッパのクラブから 3 人、東洋東南アジアのクラブから 4 人、インド、南アジア及び中東のクラブから 2 人を選出するものとする。

	会則地域
I	アメリカ合衆国、その領域、バミューダ、バハマ
II	カナダ
III	南アメリカ、中央アメリカ、メキシコ、カリブ海諸島
IV	ヨーロッパ
V	東洋東南アジア
VI	インド、南アジア、アフリカ、及び中東
VII	オーストラリア、ニュージーランド、パプア・ニューギニア、インドネシア、南太平洋諸島

Notice of Amendment.JA

ガバナー基本方針

《 ガバナースローガン 》

地域を越えて We S e r v e

1. 国際会長の方針を尊重して活動します。
2. 会員増強・会員維持に努力します。
特に若手会員・女性会員の増強に力を入れます。
3. 青少年の健全育成に資する奉仕活動を推進します。
4. Y C E活動を通して、国際感覚豊かな青少年の育成に努めます。
5. 地域に根差した奉仕活動を推奨すると共に地域を越えた奉仕活動を推し進めます。
6. L C I Fの啓蒙、推進に努めます。
7. 献血・献眼を中心に保健福祉、環境保全活動を推進します。

2019～2020 ガバナーメッセージ

平成から令和へ時代は移り、新しい時代の幕が開きました。令和の時代はどのような世界なのか？期待は大きくなりますが、「物」から「心」に変化、進化してもらいたいと思います。

国際協会は多様なプログラムをガバナーに求めています。そのひとつひとつに真摯に向き合い、メンバー1人1人に協力を求めて、微力を積み重ねて行く覚悟です。ご支援、ご協力をお願い致します。

ガバナースローガン『**地域を越えて We S e r v e**』は、地域に根ざした活動を実行しているクラブ、会員がその特定の地域の枠を越えて、連系、連帯した奉仕をしてほしいのです。飢餓に苦しんでいるアフリカの子供たちに直接食料支援はできません。でも、ライオンズクラブではLCIFを通じてアフリカの子供たちに食料支援ができるのです。地域の枠を越えてできる奉仕はまだまだあるのです。献血、献眼しかり、地域にしっかり根を張ったクラブであることが地域を越えて奉仕ができるのです。ライオンズクラブの100年先を考えると今すべきことは会員増強、会員維持です。地区で純増100人を達成するには、460人の新会員を迎えなければなりません。これは460人の5～6倍の方に声をかけなければできません。すなわち、地区のメンバー全員が最低1人に声をかけて入会を勧めてほしいのです。できれば若い方に！女性の方に！

●各リジョンに1支部、計7支部をつくろう！

もちろん、クラブによってはそれは非常に難しいことであることも理解しています。クラブ会長、ZC、RCが連絡を取り合って努力して下さい。

“努力せずして、成果なし”

●今年度より当地区では、アラート委員会の役割はG S Tが担当し、G L T委員会が果たします。昨年 of 西日本豪雨の教訓が生かされるよう、早い機会に研修会を開催し、非常時の連絡網、炊き出しへの対応、援助物資の配布等、地元での災害に迅速に対応できるよう準備を進めていただきます。

●L C I F 1 0 0 キャンペーンについては、クラブコーディネーターを中心にお願いしていきます。すべてのクラブにL C I Fに参加いただき、地区で1 0 0 人の方にM J Fをお願い致します。

●ガバナーチームミーティングは、キャビネット会議の前とその中間の3回、計7回開催して、チームのコミュニケーションを取りつつ、地区運営の継続性を確保してまいります。

各クラブが活発な奉仕活動を行い、会員一人一人が健康でご活躍されることを祈念しております。



地域を越えて We Serve

～分け隔てない雄大な自然のように地域を越えて～

モチーフの雄大な雲は、出雲神話でスサノオが歌ったと云われる「八雲立つ出雲八重垣妻ごみに八重垣作るその八重垣を」の解釈から引用し、湧き上がる雄大な雲のように覆いかぶさり大切な人やモノを守り、尽くす「慈愛」や「奉仕の精神」を表しています。

自然を神格化し、自然とともに生きる出雲地方の精神性をライオンズクラブの奉仕の精神と重ね合わせてロゴマークで表現いたしました。誰にでも平等に分け隔てなく語りかける「雄大な自然」のモチーフを用いることでスローガンである「地域を越えて」にもリンクする表現になっているかと思います。

第 6 5 回各複合地区年次大会共通提案

【改正案】	現 行
<p>複合地区会則 第 16 条 地区ガバナー・キャビネット 3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年 4 回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、<u>および地区委員長に投票権が与えられる。</u></p>	<p>ライオンズ必携第 58 版 P.152-153</p> <p>複合地区会則 第 16 条 地区ガバナー・キャビネット ◎ 3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年 4 回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソンおよび地区委員長に投票権が与えられる（330・331・332・333・335・337 複合地区）。</p> <p>◎ 3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年 4 回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長および LCIF/GMT/GLT/FWT/100 周年記念地区コーディネーターに投票権が与えられる（334 複合地区）。</p> <p>◎ 3. 地区ガバナーはキャビネットの会議を主宰する。定例会議は年 4 回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議で地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長および地区 LCIF/GMT/GLT/GST/FWT 地区コーディネーターに投票権が与えられる（336 複合地区）。</p>
<p>複合地区会則 第 17 条 キャビネット構成員 1. キャビネット構成員を次のとおりとする。 (a) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、<u>および地区 FWT/GLT/GMT/GST/LCIF コーディネーター、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン</u></p>	<p>ライオンズ必携第 58 版 P.153-154</p> <p>複合地区会則 第 17 条 キャビネット構成員 1. キャビネット構成員を次のとおりとする。 (a) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第 1 副地区ガバナー、第 2 副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン</p>

【改正案】	現 行
<p>複合地区会則</p> <p>第 2 2 条 地区ガバナー諮問委員会</p> <p>1. 地区ガバナー諮問委員会は地区ガバナーの諮問機関として各ゾーンごとに設置され、ゾーン・チェアパーソン、ゾーン内のクラブ会長、クラブ第 1 副会長、クラブ幹事をもって構成される。ゾーン・チェアパーソンは本委員会を主宰する。</p> <p>2. 各ゾーンにおいて、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、第一副会長、並びに幹事は、地区ガバナー諮問委員会の構成員となり、ゾーン・チェアパーソンはその委員長となる。ゾーン・チェアパーソンが定める日時及び場所において、国際大会閉会後 9 0 日以内に第 1 回会議を開き、第 2 回会議は 1 1 月に、第 3 回会議は 2 月又は 3 月に、第 4 回会議は複合地区大会の約 3 0 日前に開く。クラブ奉仕委員長、クラブ・マーケティング・コミュニケーション委員長、クラブ会員委員長は、各自の役職に関係のある情報が共有される場合には出席する必要がある。この委員会は、諮問に答えるゾーン・チェアパーソンに助力し、ゾーン内のライオニズム及びクラブの福利に関する勧告をまとめた上で、それをゾーン・チェアパーソンを通して地区ガバナー及びキャビネットに伝える。</p> <p>（第 2 2 条 2 項を国際理事会方針書の標準版地区付則第 1 4 条第 1 項の規定に統一する。）</p>	<p>ライオンズ必携第 58 版 P.159-160</p> <p>複合地区会則</p> <p>◎第 2 2 条 地区ガバナー諮問委員会</p> <p>1. 地区ガバナー諮問委員会は地区ガバナーの諮問機関として各ゾーンごとに設置され、ゾーン・チェアパーソン、ゾーン内のクラブ会長、クラブ第 1 副会長、クラブ幹事をもって構成される。ゾーン・チェアパーソンは本委員会を主宰する。</p> <p>2. 地区ガバナー諮問委員会は年 3 回定例会議を開き、ゾーン内のクラブが協調を保ちつつ、ライオニズムを高揚するための方法について協議する。</p> <p>（330・331・332・333・334・335・337 複合地区）</p> <p>◎第 2 2 条 地区ガバナー諮問委員会</p> <p>各ゾーンにおいて、ゾーン・チェアパーソン、各クラブ会長、第一副会長、並びに幹事は、地区ガバナー諮問委員会の構成員となり、ゾーン・チェアパーソンはその委員長となる。ゾーン・チェアパーソンが定める日時及び場所において、国際大会閉会後 9 0 日以内に第 1 回会議を開き、第 2 回会議は 1 1 月に、第 3 回会議は 2 月又は 3 月に、第 4 回会議は複合地区大会の約 3 0 日前に開く。クラブ奉仕委員長、クラブ・マーケティング・コミュニケーション委員長、クラブ会員委員長は、各自の役職に関係のある情報が共有される場合には出席する必要がある。この委員会は、諮問に答えるゾーン・チェアパーソンに助力し、ゾーン内のライオニズム及びクラブの福利に関する勧告をまとめた上で、それをゾーン・チェアパーソンを通して地区ガバナー及びキャビネットに伝える。</p> <p>（336 複合地区）</p>

地区運営及び奉仕活動の重点

1. 地区キャビネットのあり方

地区内ライオンズクラブの融和協調を図るとともに、ライオニズムの高揚のために、ライオンズクラブ国際協会の理念を基に、336複合地区ガバナー協議会の基本方針に従い、336-D地区各クラブの要望に応えるべく、積極的な情報収集に努め、円滑なクラブ運営となるよう指導していく。

2. キャビネットの合理化の推進

- 1) キャビネット運営の合理化を継続し、経費の節減を図る。
- 2) 各種会議を見直し簡素化を図る。
- 3) 各種会議の議事録を作成する。
- 4) 地区名誉顧問会議については、次年度キャビネット開局後、ガバナーの要請に応じて開催する。

3. 事務の合理化 IT の活用

ITを活用し、事務の簡素化を進める。

- 1) キャビネットHPを活用し情報収集及びPRを実行する。
- 2) ペーパーレス化を進める。

○地区役員名簿・各種会議議案資料等の情報は、HPでデータの一元管理を行う。

○情報のデータベース化・共有化を図り、時代に即したマルチデバイスへの対応を試行する。なお、必要と思われる書類に関しては、各クラブで印刷し使用する。

経費削減に関する諸案

- RC・ZC・各委員長の活動費は定額支給とし、活動計画を立案して担当副幹事を通じて必要経費を請求する。
- 地区名誉顧問会議はキャビネット方針審査時と、適宜必要とした時に必要に応じてガバナーの要請で開催する。(交通費・宿泊費支給)
- 地区名誉顧問の方々にキャビネット会議のご案内はいたします(第1回・第4回のみ交通費・宿泊費支給)が、リジョン・ゾーンで会議等を開催するときは出席要請をする。(交通費は不支給)

- 地区名誉顧問の方で、辞退の申し出のあった方は元地区ガバナーとして処遇致します。
 - キャビネット会議前の地区常任名誉顧問会議は必要に応じてガバナーが開催する。
 - 国際本部からダウンロードできる日本語資料は、ダウンロード先を明記して補足資料とするので、出席者は必要と判断すれば各自でダウンロードしていただきたい。
 - キャビネットバッジは最低限作成する。
 - 獅子吼は年2回発行し、各クラブのアクティビティ等は336-DのHPで随時掲載する。
 - 地区役員の名刺は委員以上作成する。
 - 地区役員、クラブ三役の写真は各自提出のものを使用する。
-

4. ガバナー公式訪問

ガバナー公式訪問をゾーン単位の合同訪問とし、ゾーン内の融和を図り、各クラブの意見を聴取する

- 1) 節減のため、質素な形式にしながらも、共通の話題を語り合う。
- 2) 公式訪問前にクラブに対して質疑事項を送付し、訪問時口頭で回答する。
- 3) 公式訪問時に例会訪問を実施する。(希望)
- 4) 公式訪問の次第を事前にZCへ伝達する。

5. 奉仕活動の改革

人口減少、地域の高齢化等も進み、従来とは異なる方法の奉仕活動、会員増強、エクステンション等が求められている。それぞれの地域にあったクラブ運営、奉仕活動事業等の取り組みをしていただきたいと思います。

6. MC・情報

広報活動とは、会員及び地域社会に対してライオンズクラブの奉仕事業や活動を推進し、ライオンズクラブ国際協会に関する情報を広め、協会のイメージの高揚に努めることです。地区での任務に当たるのは、地区MC委員長です。MC委員長はプログラムが正しく伝えられるように、各委員長と密接に情報交換し協力していかなければなりません。ITの固定化により、インターネットを活用し、情報をインプットし収集できるようになっております。各クラブの事務局においてもクラブ員各位に広く活用していただくよう推進をお願いします。なお、普及していないクラブには、キャビネット事務局よりクラブ事務局を通して対応します。

7. G A T (グローバル・アクション・チーム)

グローバル・アクション・チームは、2017年7月に開始され、グローバル会員増強チーム (GMT) グローバル指導力育成チーム (GLT)、に新たにグローバル奉仕チーム (GST) を加えて、3つの重要な分野を結合した。日本の場合は、家族及び女性チーム (FWT) を含めた4つのチームとなる。

会員増強とドロップの防止、さらにエクステンションの推進を継承します。

国際会長の方針・目標を見据え、会員増強を積極的に推し進め女性または若い会員のパワーをクラブに持ち込み、そのクラブが奉仕を通じて新鮮で進化していくことを目標としています。なお、退会者が出ないように防止に向けてクラブ・ゾーンで事前に対処していただくようお願いいたします。

1) GMT (グローバル会員増強チーム)

会員維持のためドロップをなくす努力をすること、また、会員増強についても各クラブを指導して下さい。

2) GLT (グローバル指導力育成チーム)

GMT と共同で未来のライオンズを担える人材を育成する為に研修会を開催し、その推選を P・D・C・A で検証して参ります。

3) GST (グローバル奉仕チーム)

クラブが情報や資料を特定し、奉仕事業をより良いものにしてインパクトを高めるノウハウを活用できるよう支援します。

4) FWT (家族及び女性チーム)

FWT コーディネーターと協力して会員増強に取り組み、支部結成を推し進め和やかな中にもクラブの活性化を図って下さい。

5) 会員純増目標

リジョン・ゾーン単位で5%以上、地区100人以上の目標として頂きたい。

8. Y C E 事業

ライオンズクラブ Y C E 事業 (交換学生) は、世界ライオンズとのネットワークで行われており、交流により国際的視野を深め、世界平和へ貢献できる青少年健全育成を目的としているものです。今年も積極的に推進して行きましょう。

今期も副委員長を置き、通年にわたるアクティビティに連続性をもって対応する。

9. 保健福祉環境保全「献眼・献血」

地区アクティビティスローガン「光と愛を」にあるように、献眼運動はライオンズクラブの奉仕活動の主要テーマです。今年度も積極的に献眼登録を推進して行くと共に、献眼発生時には敏速正確な対処を図るよう、研修会の開催等で理解を深めてまいります。

献血運動は日本に限らず、世界においても有数な献血推進団体として協力し、素晴らしい成果を上げております。しかし、若年層の献血者が少ないとのデータが出ています。そうした状況を踏まえ、特に若年層への啓発を重点において、積極的に献血運動を展開していただきたい。今年も引き続き、献眼・献血0クラブをなくす努力をお願いします。

10. LCIFへの寄付金推進

LCIFはライオンズ国際財団と称し、寄付を受けた基金を運用して、大災害や緊急事態の救済、その他世界的に人類の福祉に貢献することを目的とする財団です。

LCIFへの寄付金は、一人当たり100ドルを目標とするキャンペーン100の推進をしていきます。

MJFへの寄付金は、有志によりますが各クラブより一人でも多くの方をお願いしたいと思います。寄付金は1回1,000ドルが単位です。地区内で100口を目標とします。

LCIFの交付金の活用については、クラブが理解を深めると共に、D地区内からLCIFの助成金を獲得できるアクティビティを申請できるように取り計らって参ります。

11. 青少年健全育成

◎青少年健全育成基金のお願い

各クラブの周年行事が展開されています。金額の多少を問わず周年行事アクティビティの一つとして、青少年健全育成基金への寄付をお願いします。

【ライオンズクエスト】

○青少年にライフスキルを

教師と生徒がともに模索しながら考え、青少年に生きる力（ライフスキル）を身につけさせる教育のプログラムを支援することを目的にしています。われわれメンバーが教えるのではなく、特定非営利活動法人青少年育成支援フォーラムの普及活動を通じて、その指導のための認定講師を派遣する活動の支援です。

【薬物乱用防止】

○薬物乱用の低年齢化防止

薬物乱用の低年齢化を防止するために、中学生、高校生を対象に「薬物乱用防止教室」を展開していきます。またその際、ライオンズクラブ会員による薬物乱用防止教室認定講師の派遣要請があった場合の対応に、認定講師の養成講座講習会を開催します。

1 2. 平和ポスターコンテスト

国際平和ポスターコンテストは、地域の子どもたちと共に、平和、寛容さ、国際理解を推進する素晴らしい機会です。平和を考え、それが自分たちにとって何を意味するかを独創的に表現し、そのビジョンを世界の人々と分かち合うことを11歳から13歳の子どもたちに奨励します。各ライオンズクラブは、地元の学校又は、青少年組織団体でコンテストをスポンサーすることが出来ます。入賞作品を選んだら、次の段階の審査に進みます。

（地区→複合地区→国際本部）国際入賞者はライオンズ誌及び国際協会のウェブサイトで発表されます。各学校へのPRを宜しくお願い致します。

1 3. 奉仕デーの活用

10月8日は世界ライオンズ奉仕デー（World Lions Service Day）です。各クラブで、地域の方々（ボランティア団体等）と協議し、事業や奉仕活動を積極的に推進して下さい。

クラブ運営について

ライオンズクラブの基本的な在り方

多くの団体は、役員のみによって通常その会の運営が実施されていることが多いのですが、ライオンズクラブは会員全員によって運営されるのが特色です。会員が平等の権利と義務を持って「全員参加」と「民主的ルール」によって運営されます。これがライオンズクラブの基本的なあり方です。

例会・理事会・委員会はクラブ運営の正式機関としてそれぞれの役割を持ち、いずれも不可分な関係にあります。各クラブがそれぞれ奉仕活動がしやすいように工夫が必要です。

例会の在り方

例会はクラブの最高決議機関です。

国際協会では、例会についても、会員が集まる方法について、例えばインターネット上で集まる。あるいは、時間に定めなく集まる。等々さまざまなクラブを紹介しています。

ただ、例会のあり方は様々であるといっても、現状 336-D 地区に現在あるクラブでは、従来の例会はクラブの最高決定機関です。新しい企画や内規の制定、改廃をはじめ理事会で決定されたことでも、例会の承認なしには実行できないことが多くあります。

現在のクラブにとって例会出席は会員の重要な義務であり、例会の欠席は会員としての「権利放棄」に繋がります。例会の実出席率はクラブ活性化のバロメーターとなります。例会を楽しく意義あるものにする努力が各会員に課せられているといっても過言ではないと思います。例会の不活性なクラブから、ドロップ会員が多発している状態を直視する必要があります。実出席が難しい場合もありますので、その際は「出席メイクアップ規則」を忠実に守り、出席率の向上に努力しましょう。

メイクアップは所属クラブだけでなく、ゾーンやリジョン・姉妹・ブラザークラブの例会も許容し、会員同士の研鑽の役に資するよう改革して参りましょう。

その上で各クラブが実情に応じた例会に変化していくことは止めるものではありません。要はクラブの目的である、その地域に必要とされる奉仕をいかに多くのメンバーと共に実行できるかにかかっています。

クラブ周年記念について

MD336 運営マニュアルに、クラブ周年記念の趣旨として「クラブ運営の活性化と、会費の値上げ抑制を図ることを主眼」に、周年記念会合と周年記念事業の在り方について下記の通り提言があります。

周年記念の会合について「チャーター・ナイト記念会を毎年開催し、ライオンズの目的・道徳綱領及び本クラブの歴史を特に強調する」とクラブ付則に定められています。

クラブ周年記念の会合を開催する本旨は、クラブが毎年開催すべきチャーター・ナイト記念の目的をいっそう強調することになるのではないかと思います。

5年刻みの式典は、チャーター・ナイトとは全く趣を異にするものであり、クラブ自体が今日まで発展しつづけてきたことを会員同士が喜び合い、さらに将来への発展とライオニズムの高揚を再認識しあうものと理解し、クラブ結成5年、15年は別として、以後は10年刻みにしてもよいと思われます。

25年・50年はシルバー・ゴールド・アニバーサリーであることから、国際会長を招待することもできる重要な式典ですので意義ある企画を行ってほしいと思います。

本年度のクラブ周年行事への地区ガバナーに対する出席要請につきましては、出来る限り対応して参りたいと思っております。各クラブのご理解を得たいと思います。

地区周年行事の際はぜひ、青少年健全育成基金への拠出をお願いいたします。

地区の組織と役員・委員の任務について

(1) 目的

地区内のライオンズクラブの融和協調を図ると共に、ライオニズムを高揚するためにライオンズクラブ国際協会の基本的活動方針に従い、地区内の各クラブの運営を円滑ならしめることを目的とする。

(2) キャビネット構成員

- 1) 地区ガバナー、前地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、および地区 L C I F / G L T / G M T / G S T / F W T コーディネーター、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン
- 2) 地区ガバナーが必要と認めて任命した下記委員長
国際関係委員長、MC 委員長、I T 特別委員会委員長、Y C E 委員長、保健福祉環境保全委員長、青少年健全育成委員長
- 3) その他地区ガバナーの任命する委員長、副幹事、副会計
(注) 複合地区会則第 17 条・4 により前年度の地区 Y C E 委員長および地区 I T 委員長は、必要があれば翌年度の 8 月 31 日まで、翌年度の地区ガバナーによって任命され実務に当たる。地区 Y C E 委員についても同じ。

(A) 地区ガバナー候補者の資格（国際付則第 9 条 4 項）

- (a) 所属単一地区または準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (b) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一地区または準地区内過半数のクラブの推薦を受け、
- (c) 現在、所属地区の第一副地区ガバナーを務めている者でなければならない。
- (d) 現第一副地区ガバナーが地区ガバナーに立候補しない場合のみ、あるいは地区大会の際に第一副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本付則又は会則に定められている通りに第二副地区ガバナーの条件を満たしており、現在地区キャビネット構成員として追加に 1 年務めたクラブ会員は誰でも、上記 (c) 項の条件をみたしている。

(B) 第一副地区ガバナー候補者の資格（国際付則 9 条 6 項 (b)）

- (1) 所属単一又は準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- (2) 所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内の過半数のクラブの推薦を受け、
- (3) 現在、所属地区の第二副地区ガバナーを務めている者でなければならない。
- (4) 現職の第二副地区ガバナーが第一副地区ガバナーに立候補しない場合のみ、あるいは地区大会の際に第二副地区ガバナー職が空席である場合のみ、本付則又は会則に定められている通りに第二副地区ガバナーの条件を満たしているクラブ会員は誰でも上記 (3) 項の条件を満たしているものとする。

(C) 第二副地区ガバナー候補者の資格（国際付則 9 条 6 項（c））

- （1）所属単一又は準地区内のグッド・スタンディングの正ライオンズクラブにおけるグッド・スタンディングの正会員であり、
- （2）所属クラブの推薦、あるいは所属単一又は準地区内の過半数のクラブの推薦を受け、
- （3）第二副地区ガバナー就任の時点で、
 - （a）クラブ会長を全期又は過半の期間、そして理事会構成員としてさらに 2 年以上務め、かつ
 - （b）ゾーン・チェアパーソン又はリジョン・チェアパーソンあるいはキャビネット幹事及び（又は）会計として全期又は過半の期間務めた者でなければならない。
 - （c）上記のいずれも、同時に達成させることはできない。

(3)機 能

- 1) 地区キャビネットは前記 1) に示される構成員をもって構成される。

キャビネット構成員は地区役員となる。

前地区ガバナー、第一・第二副地区ガバナー以外のキャビネット構成員は、地区ガバナーによって任命される。

地区委員は、必要に応じて地区ガバナーによって任命される。

- 2) キャビネットは地区運営方針を協議決定し、実行する。
- 3) キャビネットの会議は複合地区会則の規定によって開かれる。
- 4) 地区ガバナーは、キャビネット会議を主宰する。

定例会議は年 4 回とし、その他必要に応じて開くことができる。これらの会議では、地区ガバナー、前地区ガバナー、第一第二副地区ガバナー、地区名誉顧問会議長、キャビネット幹事、キャビネット会計、地区 LCIF/GLT/GMT/GST/FWT コーディネーター、リジョン・チェアパーソン、ゾーン・チェアパーソン、地区委員長に投票権が与えられる。

336-D 地区においては、第 1 回と第 4 回はキャビネット所在地、第 2 回は前キャビネット所在地、第 3 回は次期キャビネット候補地において開催する慣習となっている。

- 5) 地区名誉顧問会

従前の例により、地区ガバナーが委嘱した名誉顧問をもって構成する。

常任名誉顧問は原則として地区名誉顧問会議長を含め、直近地区ガバナーを務めた 4 名とする。

常任名誉顧問は主として、キャビネット会議の議事に関して地区ガバナーの諮問に答え、地区行政の円滑化を図るため、必要に応じて常任名誉顧問会を開催する。元国際理事は相談役として会議に出席する。

- 6) 地区ガバナーはキャビネット構成員以外の者を、必要に応じて会議に招集し諮問することができる。

①リジョン・チェアパーソン（国際付則第10条第2項（d））

リジョン・チェアパーソン（以下RCという）は地区ガバナーの指導監督のもとに、リジョンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- （1）本協会の目的を推進する。
- （2）リジョン内のゾーン・チェアパーソンの活動並びに地区ガバナーの任命する地区委員長の活動を監督する。
- （3）地区内における新クラブ結成及びクラブ強化を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- （4）クラブ・レベルにおける指導者育成に積極的役割を果たす。
- （5）地区役員マニュアル及びその他を通して国際理事会が要求するその他任務を遂行する。

②ゾーン・チェアパーソン（国際付則第10条第2項（e））

ゾーン・チェアパーソン（以下ZCという）は地区ガバナー及びRCの指導監督のもとに、ゾーンの最高運営責任者となる。具体的な任務は次の通りである。

- （1）本協会の目的を推進する。
- （2）ゾーン内における地区ガバナー諮問委員会委員長を務め、同委員長として同委員会の定例会議を招集する。
- （3）新クラブ結成を含む会員増強に積極的役割を果たす。
- （4）クラブ・レベルにおける指導者育成に積極的役割を果たす。
- （5）地区役員マニュアル及びその他を通して国際理事会が要求するその他任務を遂行する。

③地区委員長

地区委員長はキャビネットの構成員として、地区ガバナーの指揮のもとに、担当分野の政策立案、推進に当たると共に、キャビネットにおける専門分野のスタッフとして、ガバナーを補佐する。

地区委員長の性格付に伴って、次の点が明確になります。

- （イ）奉仕作業の実施主体は、単一クラブであり、キャビネットは指導、推進の立場にあります。
 - （ロ）単一クラブとキャビネットを結ぶラインは、リジョンの運営責任者であるRCとゾーンの運営責任者であるZCであります。
 - （ハ）各種委員会の施策推進に当たっては、地区委員長（含地区委員）とRC、ZCの連携によって行われます。
 - （ニ）従って単一クラブへの指導は、原則としてZCを通じて行われます。
 - （ホ）地区委員長は、自ら政策を立案し、キャビネット会議に提案します。決定した事項のクラブへの対応はRC、ZCのルートを通じるのが本来のあり方です。
- お互いによく連携し、骨身を惜しまず行動することが大切です。

④地区委員

地区委員は、キャビネット構成員に該当しないので、地区役員ではありませんが、地区委員会活動を活発にする重要な役割を担います。

- (イ) 地区委員は各種地区委員会を構成する委員です。従って地区委員長に直属し、その指示を受けます。
- (ロ) 地区委員は担当リジョンを定めて、そのリジョンから任命されるケースが多いようですが、その委員会の各リジョンを担当する役目だという考えは基本的になくした方がよいでしょう。

2019～2020 年 委員会構成・略称表（案）

委員会名	所属委員会
国際関係委員会 (LCIF キャンペーンコーディネーター) (LCIF コーディネーター)	国際関係・LCIF・MJF・LCIF キャンペーン
GLT 委員会 (GLT コーディネーター) (GST コーディネーター)	指導力育成・IT 特別委員会・GST・アラート
GMT 委員会 (GMT コーディネーター) (FWT コーディネーター)	会員・会員増強・会則・女性および家族会員増強・ エクステンション・運営マニュアル・会員維持・ レオ・ライオネス・クラブ支部
MC 委員会	MC・ライオンズ情報・獅子吼・会則・ 大会参加・プロトコール
YCE 委員会	YE・キャンプ
保健福祉環境保全委員会	献眼・献血・視聴覚言語障がい者福祉・糖尿病・ 保健福祉・環境保全
青少年健全育成委員会	薬物乱用防止・児童福祉・ライオンズクエスト・ 平和ポスター

キャビネット・ローテーションについて

① 従来の実績

302－W－4

年度	64～65	65～66	67～68	69～70	70～71	73～74	74～75
クラブ	岩国	松江	下関	浜田	徳山	出雲	山口
リジョン	4R	1R	7R	3R	5R	2R	5R

336－D

年度	76～77	77～78	78～79	79～80	80～81	81～82	82～83	83～84	84～85	85～86	86～87
クラブ	萩	下関東	江津	防府	柳井	松江	山陽	徳山東	益田	岩国	下関西
リジョン	6R	7R	3R	5R	4R	1R	6R	5R	3R	4R	7R

年度	87～88	88～89	89～90	90～91	91～92	92～93	93～94	94～95	95～96	96～97	97～98
クラブ	出雲	宇部	下松	松江湖城	柳井	下関響灘	浜田	宇部新川	防府 ゴールデン	出雲中央	岩国錦
リジョン	2R	6R	5R	1R	4R	7R	3R	6R	5R	2R	4R

年度	98～99	99～00	00～01	01～02	02～03	03～04	04～05	05～06	06～07	07～08	08～09
クラブ	松江葵	下関東	宇部とき わ	山口	松江湖城	防府 ゴールデン	浜田亀山	下関	出雲	山陽	山口
リジョン	1R	7R	6R	5R	1R	5R	3R	7R	2R	6R	5R

年度	09～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20
クラブ	東出雲	岩国錦	益田 あけぼの	下関北	松江	萩	松江葵	岩国桜	浜田	光	出雲中央
リジョン	1R	4R	3R	7R	1R	6R	1R	4R	3R	5R	2R

当地区では従来はガバナー選出につき、県別を考慮し実施してきたが、
リジョンによるローテーションがより合理的であるので、将来の予定を次の如く設定した。

☆リジョン・ローテーション

島根県	3R	2R	1R	3R
山口県	4R	7R	6R	5R

② 今後のローテーション

年度	20～21	21～22	22～23	23～24	24～25	25～26	26～27	27～28	28～29	29～30
リジョン	7R	1R	6R	3R	5R	2R	4R	1R	7R	3R

ライオンズクラブ国際協会336複合地区組織表(2019～2020年度)案

2019/5/17現在

336複合地区ガバナー協議会構成員			
議長	橋本 充好	A	高 知 柏
副議長		A	
副議長	福代 明正	D	出 雲 中 央
幹事	高橋 淳	C	広 島 デ ル タ
会計	小野 宗次	B	倉 敷 真 備

336複合地区ガバナー協議会顧問			
渡 部 雅 文	B	倉 敷 西	
谷 野 徹	D	下 関 西	
藤 井 基 博	C	福 山 東	
名 越 勉	B	倉 吉	

336複合地区各委員長			
会則および付則・運営マニュアル編集委員長	真 鍋 隆	A	こ ん び ら
MC・ライオンズ情報・IT・アラート委員長	矢 野 敏 明	D	松 江 葵
YCE・国際関係委員長	関 野 邦 夫	A	東 予
青少年・LQ委員長	太 田 健 一	B	総 社 雪 舟
大会参加・迎接・プロトコール委員長	川 辺 信 郎	A	徳 島 城 山
環境保全・保健福祉委員長	長 崎 孝 太 郎	C	広 島 フェニックス

L C I F 委 員 会			
コーディネーター	橋本 充好	A	高 知 柏

G M T			
コーディネーター	真 鍋 隆	A	こ ん び ら
メンバー	酒 井 公 一	A	高 知 り ょ う ま
メンバー	金 磯 毅	B	岡 山 京 山
メンバー	池 原 堅	C	福 山 久 松
メンバー	澤 辰 水	D	下 関

G S T			
コーディネーター	藤 本 幸 嗣	D	岩 国 桜

緊 急 援 助 資 金 委 員 会			
委員長	橋本 充好	A	高 知 柏
委員		A	
委員	小野 宗次	B	倉 敷 真 備
委員	高橋 淳	C	広 島 デ ル タ
委員	福代 明正	D	出 雲 中 央

336複合地区監査委員			
委員	太 田 健 一	B	総 社 雪 舟
委員	寺 越 慎 一	C	広 島 平 和
委員	中 林 嘉 明	D	光

336複合地区第66回年次大会			
委員長	酒 井 陽 典	A	高 知 柏

I T 特 別 委 員 会			
委員	高 岡 英 治	A	松 山 湯 築
IT専門委員		A	
委員	佐々木 孝之	B	岡 山
委員	島 田 清 豪	C	福 山 松 永
IT専門委員		C	
委員	大 木 寿 之	D	松 江 葵

L C I F ライオンズクエスト			
諮問委員	安 田 克 樹	C	竹 原
L C I F キャンペーン100			
副エリアリーダー	大 谷 博	B	岡 山

日本8複合地区各種委員会委員			
国際理事候補者選挙管理委員会			
委員	中 林 嘉 明	D	光
ライオン誌日本語版委員会			
委員	矢 野 敏 明	D	松 江 葵
日本ライオンズ監査委員会			
委員	安 田 克 樹	C	竹 原

G L T			
コーディネーター			
メンバー	藤 本 守 雄	A	高 松 源 平
メンバー	平 山 智 雄	B	津 山 鶴 山
メンバー	三 島 英 揮	C	福 山 東
メンバー	坪 内 幹 雄	D	松 江 湖 城

F W T			
コーディネーター(F)	有 本 み どり	B	岡 山 ハーモニー
コーディネーター(W)	鵜 飼 恵 美	C	広 島 紅 葉

会則および付則・運営マニュアル編集委員会			
副委員長			
委員	井 上 浩 一	B	玉 野
委員	今 井 誠 則	C	広 島 紅 葉
委員			

第58回OSEALフォーラム			
委員長	寺 越 慎 一	C	広 島 平 和

ガバナー協議会事務局運営委員会			
委員長	下 飯 野 芳 幸	A	高 知 東
委員		A	
委員	佐 藤 慎 司	B	倉 敷 天 量
委員	上 野 康 史	C	広 島 デ ル タ
委員	矢 田 二 三 夫	D	出 雲 中 央

336複合地区ガバナー協議会事務局			
〒700-0907			
岡山市北区下石井2-1-18 ORIX岡山下石井ビル9F			
TEL : 086-234-0695 FAX : 086-234-0495			
E-mail : admin@lions-md336.org			

第66回地区年次大会運営組織表（案）

大会顧問		大会会長		大会副会長	
加藤 哲夫		福代 明正		澤 辰水	
				坪内 幹雄	
大会委員長				大会幹事	
内村 順亮 （出雲中央）				矢田二三夫 （出雲中央）	
大会副委員長				大会会計	
林 謙三 （出雲中央）				森山 茂 （出雲中央）	
板倉 靖夫 （出 雲）					
安田 秀晋 （斐 川）					
柳楽 計 （出 雲 南）					
山城 賢一 （出雲レクル）					
大会事務局		キャビネット役員			
局 長 三原 一郎 （出雲中央）		副幹事	松岡寿一郎	（下 関）	
副局長 重本 泰徳 （出雲中央）		副幹事	出雲 正樹	（出 雲）	
		副幹事	長岡 秀治	（斐 川）	
		副幹事	板倉 正美	（出 雲 南）	
		副幹事	泉 基由	（出雲レクル）	
		副幹事	伊東 隆	（出雲中央）	
		副幹事	岡 正雄	（出雲中央）	
		副幹事	三宅スミ子	（出雲中央）	
		副幹事	日下 眞二	（出雲中央）	
		副幹事	内藤 晴夫	（出雲中央）	
		副会計	平井 昇	（出雲中央）	

	運営部会	担当クラブ	担当大会副委員長	部会長	副部会長
1	式典（記念品）	出雲中央	林 謙三		
2	祝宴（アトラクション）	出雲中央	林 謙三		
3	会場設営	出雲中央	林 謙三		
4	大会誌・PR	出雲中央	林 謙三		
5	来賓接待	出 雲	板倉 靖夫		
6	登録受付	出 雲	板倉 靖夫		
7	宿泊	出 雲	板倉 靖夫		
8	代議員会（分科会）	斐 川	安田 秀晋		
9	ゴルフ	斐 川	安田 秀晋		
10	交通・駐車場	出雲レクル	山城 賢一		
11	協賛出品・出店	出 雲 南	柳楽 計		
12	救護	出 雲	板倉 靖夫		

地区役員の連携活動について

(1) 新旧役員の引継ぎ

口頭での引継ぎは避け、必ず資料作成し書面で引き継ぎをしてください。

(2) 地区役員の年間活動計画（案）の提出

- 1) 各地区委員は、各リジョンが担当エリアであることを踏まえて 地区委員長の方針・計画に沿って、各 R C、Z C との連携活動を重視して年間活動計画書（案）を、地区委員長と担当の Z C に提出してください。

提出期限 6 月 7 日(金)

- 2) 各地区委員長は、当該リジョンの各クラブに浸透させるために、年間事業活動計画書（案）上記を踏まえて立案し、R C とガバナーに提出してください。

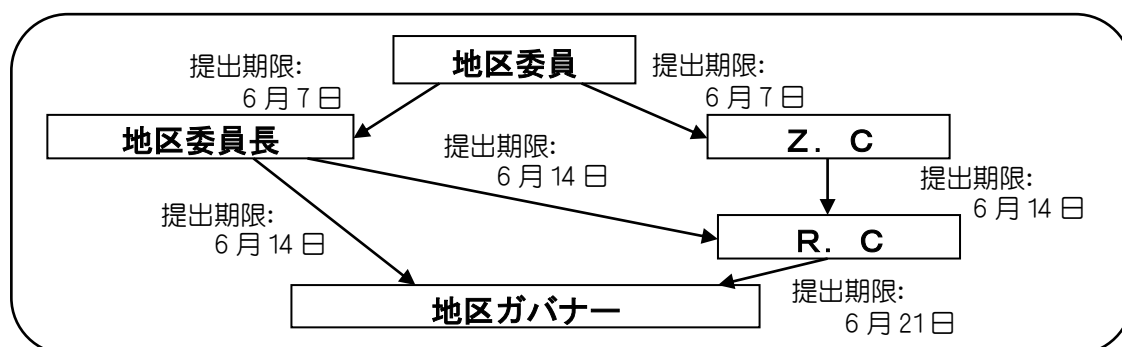
提出期限 6 月 14 日(金)

- 3) Z C は、当該リジョンの各クラブに浸透させるために、地区委員・委員長と連携して、上記を踏まえた年間活動方針計画（案）を担当の R C に提出して下さい。

提出期限 6 月 14 日(金)

- 4) R C は、上記を踏まえて年間活動計画書（案）をガバナーに提出してください。

提出期限 6 月 21 日(金)



提出期限 _____ 月 _____ 日 _____ 年間計画書（案）
 R Z 役職： _____ 氏名： _____

月 日	事業活動計画（研修会も含む）	場 所	対 象
(摘 要)			

3 3 6－D地区 リジョン連絡会議ガイドライン

これまでも各リジョンでは、役員連絡会議等の名目で開催されていたとは思いますが、ここにモデルケースとしての、会議のガイドラインを提案いたしましたので、内容をよくご理解の上、運営していただくようお願いいたします。

(1) 目的

リジョン連絡会議はガバナーの方針に則り、リジョン内の各クラブの円滑な運営と、地区委員会のそれぞれの方針、計画、実施を当該リジョン内へ浸透させることを目的に、報告、連絡、活動報告の検討、決定等を行います。

(2) 主催者

R Cが主催します。

(3) 出席者

R C及び当該リジョン所属の各Z C・地区委員長・各地区委員及びその他の関係者（地区名誉顧問及び地区役員等）の出席を特に求めてその助言を受けます。

(4) 会議運営

R Cは各Z C・各地区委員会及びそれぞれの方針・計画等について、全員の報告・連絡を重視し、各々について全員が理解を深めるように運営します。
本会議は年間に4回は最低必要と考えられます。

(5) 会議内容（参考例）

- 新年度ガバナー地区運営基本方針の確認並びに、年間活動計画（案）の作成・研修会準備・連携活動についての相互連絡・新旧役員の引継ぎ会・その他。
- ガバナー公式訪問準備・第1回諮問委員会準備・クラブ訪問計画・報告・相互連絡・連携活動等・その他。
- 第2回諮問委員会準備・報告・相互連絡・連携活動・その他。
- ガバナーズアワードについての準備・第3回諮問委員会準備・報告・相互連絡・連携活動等・各当初計画の達成・未達成の確認とその対処・その他。
- 次回地区委員推薦決定会議・次期への引継ぎ資料の準備についての報告・相互連絡・連携活動等・その他。
- 新旧役員引継ぎ（引継ぎ・申し送り事項等は、必ず資料作成し、書面で次期担当者へ引き渡す）

2019～2020年度 キャビネット活動計画(案)

年	月	日	曜日	活動計画		場所	備考	
2019	1	8	火	次期キャビネット事務局神事		出雲市	出雲商工会館4F	
		8	火	次期キャビネット事務局スタッフ会議・祝賀会		出雲市	出雲空港ホテル	
	2	16	土	第3回キャビネット会議		出雲市	出雲ロイヤルホテル	
		17	日	研修会				
	3	9	土	下関LC結成60周年記念大会		下関市	シーモールパレス	
		30	土	第4回キャビネット会議		光市	ホテル松原屋	
		31	日	研修会				
	4	20	土	第65回地区年次大会	ゴルフ・前夜祭	光市	前夜祭/ホテル松原屋	
		21	日		代議員会・式典	周南市	式典/周南市文化会館	
	5	11	土	地区名誉顧問会議		出雲市	出雲ロイヤルホテル	
		12	日	出雲レークヒルLC認証40周年記念式典		出雲市	島根ワイナリー	
		18	土	松江湖城LC認証55周年記念式典		松江市	ホテル一畑	
		18	土	次期地区役員委員研修会		出雲市	出雲ロイヤルホテル	
		25	土	頓原LC認証40周年記念式典		飯石郡	ふれあいホールみせん	
		25	土	第65回複合地区年次大会	ゴルフ・前夜祭	総社市	前夜祭/ホテルグランヴィア岡山	
		26	日		代議員会・式典		式典/総社市スポーツセンター・きびじアリーナ	
	6	8	土	次期クラブ三役研修会	1～3R	出雲市	出雲ロイヤルホテル	
		14	金	第5回ガバナー協議会				
		16	日	次期クラブ三役研修会	4～7R	下関市	シーモールパレス	
	7	5～9日		第102回国際大会			イタリア ミラノ	
		20	土	第1回キャビネット会議		出雲市	出雲ロイヤルホテル	
		21	日	研修会(アラート研修会)				
	8	2	金	ガバナー公式訪問	1R1Z			
		8	木	第1回ガバナー協議会		倉敷市		
		9	金	ガバナー公式訪問	1R2Z			
		10	土		2R1Z			
		16	金		2R2Z			
		17	土		2R3Z			
		23	金		3R1Z			
		24	土		3R2Z			
		30	金		4R1Z			
		31	土		4R2Z			
		9	6		金	5R2Z		
			7		土	5R1Z		
			14		土	6R2Z		
			20		金	6R3Z		
	22		日		6R1Z			
	27		金	7R2Z				
	29		日	柳井中央LC認証50周年記念式典		柳井市	アニバーサリーステージベルゼ	

2019～2020年度 キャビネット活動計画(案)

年	月	日	曜日	活動計画		場所	備考
2019	10	4	金	ガバナー公式訪問	7R1Z		
		5	土	下松LC認証60周年記念式典		下松市	国民宿舎 大城
		5	土	宇部LC認証60周年記念式典		宇部市	ANAクラウンプラザホテル宇部
		6	日	出雲中央LC認証55周年記念式典		出雲市	出雲ロイヤルホテル
		19	土	第2回ガバナー協議会		出雲市	ラピタウェディングパレス
		19	土	4～7R薬物乱用防止認定講師養成講座		岩国市	岩国市福祉会館
		20	日	1～3R薬物乱用防止認定講師養成講座		出雲市	出雲商工会館6F
	11	3	日	平田LC認証55周年記念式典		出雲市	平田学習館・ホテルほり江
		7～10日		第58回東洋東南アジアフォーラム		広島市	
		16	土	第2回キャビネット会議		光市	ホテル松原屋
		17	日	研修会			
		17	日	多伎町LC認証40周年記念式典		出雲市	ラピタウェディングパレス
2020	1	10	木	徳山東LC認証55周年記念式典		徳山市	ホテルサンルート徳山
	2	15	土	第3回キャビネット会議		下関市	
		16	日	研修会			
		22	土	防府中央LC認証55周年記念式典		防府市	アパホテル山口防府
	3	8	日	下松中央LC認証40周年記念式典		下松市	下松笠戸島 大城
		14	土	岩国桜LC認証55周年記念式典		岩国市	岩国国際観光ホテル
		15	日	益田あけぼのLC認証40周年記念式典		益田市	サンパレス益田
		22	日	新南陽若山LC認証30周年記念式典		周南市	周南市学び交流プラザ
		19	木	第4回ガバナー協議会		広島市	
	4	4	土	第4回キャビネット会議		出雲市	出雲ロイヤルホテル
		5	日	研修会			
		17	金	第66回地区年次大会	ゴルフ	出雲市	出雲空港カントリー倶楽部
		18	土		代議員会・式典・祝宴		出雲ドーム
		25	土	下関響灘LC認証45周年記念式典			未定
	5	23	土	336複合地区第66回年次大会	前夜祭	高知市	未定
		24	日		代議員会・式典		高知県立県民文化ホール
		30	土	浜田亀山LC認証45周年記念式典		浜田市	ジョイプラザ
	6	26～30日		第103回国際大会			シンガポール

2019～2020 年度 ガバナー公式訪問日程（案）

R	Z	月	日	曜	公式訪問クラブ	ホストクラブ ZC 所属	ZC 氏名
1	1	8	2	金	安来・出雲広瀬・東出雲・安来十神・八雲	出雲広瀬	池田 義夫
	2	8	9	金	松江・松江湖城・大東・宍道・鹿島島根・ 松江葵・隠岐海士	大東	木村 昭憲
2	1	8	10	土	出雲・平田・大社・佐田・多伎町	多伎町	梶谷 宗克
	2	8	16	金	出雲中央・斐川・出雲南・出雲レークヒル	斐川	古川 君和
	3	8	17	土	木次・三刀屋・加茂島根・仁多・掛合・赤来・ 頓原・横田	仁多	石原 肇
3	1	8	23	金	江津・大田・石見・桜江・邑智大和・瑞穂	桜江	森下 勝義
	2	8	24	土	浜田・益田・浜田亀山・益田あけぼの・ 浜田マリン	益田 あけぼの	上ヶ山慶市
4	1	8	30	金	岩国・岩国錦・岩国桜	岩国桜	村上 充宏
	2	8	31	土	柳井・大島・田布施・柳井中央・ 大島オレンジ・平生・大島中央	大島中央	瀧本 和宏
5	1	9	7	土	下松・徳山・光・新南陽・徳山東・徳山中央・ 下松中央・周南・新南陽若山	徳山中央	山下 義治
	2	9	6	金	山口・防府・防府中央・山口西京・山口中央	山口	宗像 常明
6	1	9	22	日	宇部・宇部ときわ・宇部新川・宇部かたばみ・ 宇部サルビア・宇部ハーモニー	宇部 ハーモニー	加藤 禮子
	2	9	14	土	小野田・美祢・山陽・楠	小野田	伊藤 博
	3	9	20	金	萩・長門・秋芳	萩	新谷 和彦
7	1	10	4	金	下関・下関東・下関西・下関長府・下関北・ 下関響灘・下関新下関・下関維新	下関西	太田 秀実
	2	9	27	金	豊浦・豊田山口・菊川・豊北・下関中央	豊浦	重岡 伸一

取引銀行について

2019～2020 年度 336-D地区キャビネット事務局の取引銀行は次の通りとする

請求項目	納入先
地区運営費	<u>山陰合同銀行 出雲支店 普通預金 No.4206892</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 運営費会計 森山 茂（もりやま しげる）
地区大会費	<u>山陰合同銀行 出雲支店 普通預金 No.4206909</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 年次大会委員長 内村 順亮（うちむら よしあき）
緊急積立金特別会計	<u>山陰合同銀行 出雲支店 普通預金 No.4206912</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 緊急積立金特別会計 森山 茂（もりやま しげる）
青少年育成基金特別会計	<u>山陰合同銀行 出雲支店 普通預金 No.4206925</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 青少年育成基金特別会計 森山 茂（もりやま しげる）
ライオンズクエスト 支援基金特別会計	<u>島根中央信用金庫 小山支店 普通預金 No.5083023</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 ライオンズクエスト支援基金特別会計 森山 茂（もりやま しげる）
運営基金会計	<u>島根中央信用金庫 小山支店 普通預金 No.5083031</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 運営基金会計 森山 茂（もりやま しげる）
島根まごころバンク会計	<u>山陰合同銀行 出雲支店 普通預金 No.4194255</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 島根まごころバンク基金 事務局 福代 明正（ふくしろ あきまさ）
登録料等	<u>山陰合同銀行 出雲支店 普通預金 No.4206938</u> ライオンズクラブ国際協会 336-D地区 登録料等会計 森山 茂（もりやま しげる）

キャビネット幹事・キャビネット会計の担保免除について

任 務 の 代 行 (案)

1. 地区ガバナー欠席の場合の任務代行は次の通りとする。

(1) 第一副地区ガバナー	澤 辰水
(2) 第二副地区ガバナー	坪内 幹雄
(3) 地区名誉顧問会議長	中林 嘉明
(4) 地区常任名誉顧問	矢野 敏明
(5) 地区常任名誉顧問	藤本 幸嗣
(6) 地区常任名誉顧問	秋田 千鶴
(7) キャビネット幹事	矢田二三夫
(8) キャビネット会計	森山 茂
(9) 各リジョンチェアパーソン	

2. リジョンチェアパーソンの事故のある時の任務代行は次のとおりとする。

(1) リジョン内のゾーンチェアパーソン会議で決定する。

3. ゾーンチェアパーソンの事故のあるときの任務の代行は次のとおりとする。

(1) ゾーンチェアパーソンの所属するクラブの会長とリジョンチェアパーソンが協議のうえ決定する。

(注)慶弔時の任務代行について

山口地区・・・・・・澤 辰水第一副地区ガバナー・中林嘉明地区名誉顧問会議長

島根地区・・・・・・坪内幹雄第二副地区ガバナー・矢野敏明常任名誉顧問

以上、お願い申し上げます。

2019~2020 年
キャビネット旅費・慶弔規定について(案)

(1) 旅費規程

交通費	航空機（航空路線のあるところ） 列 車（在来線・新幹線・特急） ・ 汽 船（特等）
宿泊費	実 費（上限 10,000 円）

(注)

1. 旅費はキャビネット会議及び委員会に出席、又は出張の場合に支給する。
2. 交通費は所属クラブ所在地から会議等開催地までの距離で支給する。
【列 車】 J R 最短距離路線の運賃実費とする。
(50km 以上の場合は特急利用可・指定席可)
【自家用車】 走行距離 1km 当たり 15 円を支給する。(高速利用可)
3. 職員が役員と同行の場合は必要に応じて役員並とすることができる。
4. 宿泊費は用務の都合で宿泊を必要とする場合のみ実費(上限 10,000 円)を支給する。
5. 諸会議・研修会等の開催地を包括するリジョン内の出席者には、旅費を支給しない。
但し、ガバナーが認める場合はその限りではない。

(2) 慶弔規定

1. 特別な慶弔には祝電・祝辞・弔電を贈る
2. 地区名誉顧問、キャビネット構成員及び地区委員については次による。
 - a) 死去したときは香典¥10,000 を贈る(同居家族の場合は弔電を贈る)
 - b) 病気・障害等により入院または自宅加療の期間が 3 週間以上となるときは見舞金¥5,000 を贈る
 - c) 災害、風水害等の災害があったときは見舞金を贈る。その額はガバナーが決定する。
3. クラブ会長・幹事・会計が死去したときは、¥10,000 の香典を贈る。
その他の会員に対しては弔電を贈る。
4. 献眼者等の葬儀に対しては¥10,000 円の香典を贈る。

この規定は 2019 年 7 月 1 日より実施。

3 3 6－D地区緊急援助資金規程

1. 対 象
援助の対象は、地区内において災害援助法が適用された災害及びこれに準ずる災害のうちから採択する。
2. 委員会構成
 - (1) 委員は地区ガバナーが任命する。
委員長1名、副委員長2名、委員若干名とする。
 - (2) 委員長には地区ガバナーが当たる。
 - (3) 委員長不在又は事故があったときは、あらかじめ定めた順序に従って副委員長が代行する。
3. 緊急援助資金
 - (1) 緊急援助資金は基金と援助引当金とに分ける。
この基金援助引当金は地区ガバナーが保管する。
 - (2) 基金の額は最低500万円とする。
 - (3) 地区費、地区大会費の剰余金、及び地区における行事などその他剰余金が生じた場合は、基金、援助引当金のいずれか又は両者に繰り入れることができる。
 - (4) 基金を超過する額及び基金より生じる利息は、援助引当金に繰り入れる。
4. 運 用
 - (1) 定例委員会は年1回とし、第1回キャビネット会議の前後に開かれる。委員の任期は委員長の任期と同じとする。
 - (2) 支出にあたっては、委員の2／3以上の賛成を要する。
緊急を要する賛否の連絡は電信電話によるものとし、併せて文書でこれを確認する。
 - (3) 会計年度における援助の総額は援助引当金の範囲内とし、援助額及び援助方法は、その都度決定する。但し、災害の程度に応じては基金の使用もできるものとする。
 - (4) 援助の発案は、地区ガバナーが行うものとする。
 - (5) 災害発生のクラブは、災害状況を速やかに地区ガバナーに報告するものとする。
これらの報告、又は他の地区からの連絡等は考慮して委員会が審査する。
 - (6) 災害の状況によって、援助引当金に他の基金の使用等があり、3項2号の最低基金に不足が生じたときは、その不足額を補てんするため地区委員が拠出するものとする。但し、委員会の裁定により本項は決定するものとする。
 - (7) 委員会は通常会費と同様の方法により、この資金の使途について地区会計監査を受け、期末における残額は次期地区ガバナーに引き継ぎをするものとする。
 - (8) 退会者があっても積立金は払い戻ししない。
 - (9) 本規定は2015年7月9日から施行する。

3 3 6－D地区緊急援助資金規程に基づく

委員長・委員の任命について（案）

2019.7.1～2020.6.30 3 3 6－D地区「地区緊急援助資金委員会」の構成は次の通りとする。

委員長	福代 明正	地区ガバナー
副委員長	澤 辰水	第一副地区ガバナー
副委員長	坪内 幹雄	第二副地区ガバナー
委員	矢田二三夫	キャビネット幹事
委員	森山 茂	キャビネット会計
委員	渡部 俊行	1 R・R C
委員	原 洋子	2 R・R C
委員	清水 優文	3 R・R C
委員	山口 秀敏	4 R・R C
委員	神田 義満	5 R・R C
委員	前村きみこ	6 R・R C
委員	米田 敬	7 R・R C

2019～2020年度 336-D地区役員・委員割当表

★委員長 ☆副委員長 ○委員

リジョン 委員会略	1R	2R	3R	4R	5R	6R	7R
GLT (各RCが委員を兼任)	○	○	○	○	○	○	○
GMT (各ZCが委員を兼任)	1Z 2Z ○ ○	1Z 2Z 3Z ○ ○ ○	1Z 2Z ○ ○	1Z 2Z ○ ○	1Z 2Z ○ ○	1Z 2Z 3Z ○ ○ ○	1Z 2Z ○ ○
MC		★					
国際関係					★		
YCE	☆	○	○	○	★	○	○
保健福祉 環境保全	★	○	○	○	○	○	☆
青少年 健全育成	○	★	○	☆	○	○	○

【コーディネーター・委員長】

L C I F / 福代明正 (2R2Z. 出雲中央LC)
 LCIF キャンペーン / 坪内幹雄 (1R2Z. 松江湖城LC)
 G L T / 大野美雄 (1R2Z. 松江LC)
 G M T / 金田寛治 (4R1Z. 岩国錦LC)
 G S T / 神田義満 (5R2Z. 防府LC)
 F W T / 山崎もとみ (3R1Z. 大田LC)
 国際関係委員長 / 守田和彦 (5R1Z. 光LC)
 複合地区IT特別委員 / 大木寿之 (1R2Z. 松江葵LC)
 MC 委員長 / 大田邦夫 (2R2Z. 出雲中央LC)
 IT 特別委員長 / 志賀光法 (6R1Z. 宇部新川LC)
 YCE 委員長 / 椎木一三 (5R1Z. 徳山LC)
 保健福祉環境保全委員長 / 長谷川順子 (1R1Z. 東出雲LC)
 青少年健全育成委員長 / 堀江康輔 (2R3Z. 横田LC)

キャビネット業務分担表

分担表①

役職	幹事	会計	副幹事	副幹事
	矢田二三夫	森山 茂	松岡寿一郎	泉 基由
所属LC	出雲中央	出雲中央	下関	出雲レークヒル
関係委員会	全般	全般	全般	国際関係・LCIF
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> ●地区運営全般の統括 ●各種会合・委員会・研修会準備 ●名誉顧問会・RC・ZC会議に関する業務 ●地区役員研修会に関する業務 ●マンスリーレポートの点検・集計 ●審査・表彰決定の作成 ●キャビネット事務局の運営管理 ●諮問委員会関係 ●地区行事計画の作成業務 ●クラブ周年行事に関する業務 ●地区組織表作成業務 ●キャビネット構成委員・名誉顧問・クラブ三役の名簿作成業務 ●文書の発信 ●キャビネット局内会議の連絡 ●諸会議の案内・出欠及び記録に関する業務 <p>※複合地区運営委員 ※次年度国際関係委員長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●地区予算・決算関係業務の統括 ●事務局会計業務の統括 ●地区大会予算の業務 ●各クラブの財政状況の把握 ●各クラブの出納事務の指導 ●地区監査委員との連絡業務 ●ガバナー経費の請求 ●旅費・慶弔の出納事務 ●特別会計文書の発信 ●拠出金の出納業務 ●通年4年度の年次大会での会計監査報告 <p>※2年後年度から2年間監査委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●次期キャビネット立ち上げに向けて幹事業務・会計業務等全般において研修 ●現キャビネット幹事補佐 ●会員増強・エクステンションに関する情報収集 ●LCIF・MJFに関する啓蒙活動 ●YCE事業の継承活動 ●献眼・献血に関する啓蒙活動 	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとり委員長を補佐し活動の推進を図る ●各クラブのアクティビティ等の全ての集計、資料管理に関する業務 ●国際関係、LCIF、MJFに関する業務及び集計 ●会議、研修会等の資料作成、議事録の作成 ●担当委員会の会議等の会場の手配、設営に関する業務 ●その他、国際関係に関する業務
協力業務	<p>《全員が協力する業務》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全ての行事計画に関する業務 2. 予算案に関する業務 3. 公式訪問に関する業務 4. キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 5. 地区年次大会、代議員会に関する一切の業務 6. キャビネット局内会議の連絡・調整・点検の協議を行う体制の構築 7. OSEAL・国際大会の代議員の出席推奨と督励 8. その他必要に応じて全員で協力体制の構築 			

分担表②

役職	副幹事	副幹事	副幹事	副幹事
	長岡 秀治	板倉 正美	内藤 晴夫	岡 正雄
所属LC	斐川	出雲南	出雲中央	出雲中央
関係委員会	GLT・IT	GMT・FWT	M C	YCE
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとり委員長を補佐し活動の推進を図る ●会議、研修会等の資料作成、議事録の作成 ●担当委員会の会議等の会場の手配、設営に関する業務 ★GLT ●GLTに関する複合地区ガバナー協議会及び地区コーディネーターの業務補佐 ●指導力向上に関する業務補佐 ●ライオンズクラブ国際協会のeMMRとのリンク業務 ●各クラブIT導入の指導・援助 ●議事録・各種会議資料のペーパーレス化の推進業務 ●マンスリーレポートの点検指導 ●緊急援助支援金申請に関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとり委員長を補佐し活動の推進を図る ●会議、研修会等の資料作成、議事録の作成 ●担当委員会の会議等の会場の手配、設営に関する業務 ●GMTに関する複合地区ガバナー協議会及び地区コーディネーターの業務補佐 ●家族・女性会員に関する業務補佐 ●会員拡大・大会防止への積極的指導 ●支部の設立 	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとり ●PRIに関する事業 ●ライオンズ情報に関する業務 ●地区誌・キャビネット情報誌の発行業務 ●HP立上げと各種更新業務 ●地区年次大会誌の発行業務・地区運営に関する幹事補佐 ●国際大会等各種大会の情報収集並びにPR ●マンスリーレポートの点検指導 ●担当会議等の指導・出席者確認 ●報道機関への連絡と取材対応 	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとり ●YCEに関するすべてについて委員長を補佐し連絡・調整業務 ●YCEの計画立案の補助業務 ●派遣・受入の旅費・336受入窓口調整業務 ●担当委員会出席と活動の把握 ●キャンプの企画・運営 ●レオクラフにキャンプへの参加を呼び掛ける
協力業務	<p>《全員が協力する業務》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全ての行事計画に関する業務 2. 予算案に関する業務 3. 公式訪問に関する業務 4. キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 5. 地区年次大会、代議員会に関する一切の業務 6. キャビネット局内会議の連絡・調整・点検の協議を行う体制の構築 7. OSEAL・国際大会の代議員の出席推奨と督励 8. その他必要に応じて全員で協力体制の構築 			

分担表③

役職	副幹事	副幹事	副幹事	副幹事
	日下 眞二	出雲 正樹	伊東 隆	三宅スミ子
所属LC	出雲中央	出雲	出雲中央	出雲中央
関係委員会	保健福祉環境保全	青少年健全育成	地区年次大会	地区年次大会
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとる ●献眼・献血・視覚障がい福祉・聴覚言語障がい・糖尿病・小児がん・環境保全に関する業務 ●担当委員会出席と活動の把握 ●会議、研修会等の資料作成、議事録の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ●担当委員長と連絡を密にとる ●青少年健全育成に関する業務 ●ライオンズクエストに関する業務 ●レオクラブに関する業務 ●薬物乱用防止に関する業務 ●平和ポスターに関する業務 	<ul style="list-style-type: none"> ●大会委員長を補佐し大会全般をサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ●大会委員長を補佐し大会全般をサポートする
協力業務	<p>《全員が協力する業務》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全ての行事計画に関する業務 2. 予算案に関する業務 3. 公式訪問に関する業務 4. キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 5. 地区年次大会、代議員会に関する一切の業務 6. キャビネット局内会議の連絡・調整・点検の協議を行う体制の構築 7. OSEAL・国際大会の代議員の出席推奨と督励 8. その他必要に応じて全員で協力体制の構築 			

分担表④

役職	副会計	事務局長	副事務局長	大会委員長
	平井 昇	三原 一郎	重本 泰徳	内村 順亮
所属LC	出雲中央	出雲中央	出雲中央	出雲中央
関係委員会	副会計	全般	全般	地区年次大会
分担する業務	<ul style="list-style-type: none"> ●地区会計予算・決算書作成 ●地区会計月別決算書の作成 ●地区会計の出納業務 ●地区大会費会計の予算・決算書の作成 ●地区大会会計の出納業務 ●特別会計の予算・決算書の作成 ●地区大会関係業務 ●地区大会誌発行に関する業務 ●ガバナー経費の請求業務 ●旅費・慶弔費の出納業務 ●各特別会計文書の発行 ●地区ガバナーバッジ等資産の管理業務 	<ul style="list-style-type: none"> ●現キャビネット幹事補佐 ●大会委員長を補佐し大会全般をサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ●現キャビネット幹事補佐 ●大会委員長を補佐し大会全般をサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ●地区年次大会計画業務全般 ●大会当日の歓迎挨拶 ●大会の企画・立案
協力業務	<p>《全員が協力する業務》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 全ての行事計画に関する業務 2. 予算案に関する業務 3. 公式訪問に関する業務 4. キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 5. 地区年次大会、代議員会に関する一切の業務 6. キャビネット局内会議の連絡・調整・点検の協議を行う体制の構築 7. OSEAL・国際大会の代議員の出席推奨と督励 8. その他必要に応じて全員で協力体制の構築 			

分担表⑤

役職	大会副委員長	大会副委員長	大会副委員長	大会副委員長	大会副委員長
	林 謙三	板倉 靖夫	安田 秀晋	柳楽 計	山城 賢一
所属LC	出雲中央	出雲	斐川	出雲南	出雲レークヒル
関係委員会	地区年次大会	地区年次大会	地区年次大会	地区年次大会	地区年次大会
分担する業務	●大会委員長を補佐し 大会全般をサポートする ●大会の企画・立案 ●大会の実施	●大会委員長を補佐し 大会全般をサポートする	●大会委員長を補佐し 大会全般をサポートする	●大会委員長を補佐し 大会全般をサポートする	●大会委員長を補佐し 大会全般をサポートする
	【担当業務】				
	式典(記念品) 祝宴(アトラクション) 会場設営 大会誌 PR	来賓接待 お茶席 登録受付 宿泊 救護	代議員会(分科会) ゴルフ	協賛出店 出店	交通 駐車場
協力業務	≪全員が協力する業務≫ 1. 全ての行事計画に関する業務 2. 予算案に関する業務 3. 公式訪問に関する業務 4. キャビネット会議・地区名誉顧問会議等の諸案作成 5. 地区年次大会、代議員会に関する一切の業務 6. キャビネット局内会議の連絡・調整・点検の協議を行う体制の構築 7. OSEAL・国際大会の代議員の出席推奨と督励 8. その他必要に応じて全員で協力体制の構築				

2019～2020 年 ガバナーズアワード（案）

種 類	授与基準	対象期間	審査・認定	授与方法
① 総合最優秀クラブ	1 クラブ	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
② エクステンション賞	スポンサークラブ	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
③ 総合優秀クラブ (支部結成クラブ) ④⑤⑥ ⑦の内特に活動が顕著な クラブ	5～7 クラブ	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
④ 会員増強部門 (一人目の会員増強クラ ブ)	・クラブ員純増 5%以上の クラブ ・ 5 人以上をスポンサー した個人	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議 (各クラブ⇒ZC ⇒RC で申請)	地区年次大会
⑤ 地域奉仕部門	・奉仕活動が効果的な発 想で行われ、且つその成 果が地域社会に多大に貢 献したクラブ ・継続的な奉仕活動が地 域社会に受け入れられ顕 著な実績をあげているク ラブ	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議 (各クラブ⇒ZC ⇒RC で申請)	地区年次大会
⑥ LCIF 部門	LCIF事業に特に貢献著し いクラブ	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
⑦ PR・IT 部門	地域社会に最も効果的な PRを実施したクラブ	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
⑧ 会長・幹事・会計 リーダーシップ賞	マンスリーレポート提出 が期限内に正確に提出さ れること、国際会費・地 区費が期限までに納入さ れること	2019. 3～ 2020. 2	キャビネット 選考会議	地区年次大会
⑨ ガバナー特別功労賞	特に賞に値する者	2019. 3～ 2020. 2	ガバナー専決	地区年次大会
⑩ 地区特別功労賞	特に賞に値する者			

クラブ三役の使命

はじめに

クラブ会長、幹事、会計は責任をもってクラブの運営を行い、クラブの事務局員に責任を転換してはなりません。

ライオンズクラブの目的 …… 標準版クラブ会則 第2条

- (a) 世界の人びととの間に、相互理解の精神をつちかい発展させる。
- (b) よい施政とよい公民の原則を高揚する。
- (c) 地域社会の生活、文化、福祉、公德心の向上に積極的な関心を示す。
- (d) 有情、親善、相互理解の絆によって、会員間の隔和をはかる。
- (e) 一般に関心のあるすべての問題を自由に討論できる場を設ける。ただし政党、宗派の問題をクラブ会員は討論してはならない。
- (f) 奉仕の心を持つ人びとが個人の経済的報酬なしに社会に奉仕するように、励まし、また商業、工業、専門職業、公共事業および個人事業の効率化をはかり、道徳的水準をさらに高める。

1、会長

首席就行者 …… 標準版クラブ付則 第3条 113P

クラブ会長は、クラブの「首席就行者」になり、クラブや理事会の全ての会議を主宰します。

クラブの運営、事業の全ては、担当の委員会からの答申を理事会で検討し、例会の承認を得たのち、会長によって執行されます。クラブ会長は、その担当委員会を構成して、自ら職権委員になり、理事会を主宰するため、その年度のクラブ活動全てが会長の熱意や指導力によって左右されます。つまりクラブの成功発展はすべて会長にかかっています。

会長としての責務

一年間の目的を設定します。具体的には、会員増強、例会等への出席率向上、健全財政、地域奉仕の方向と企画、PR、そして会員と家族との交流等多岐にわたります。又、各委員長と役員に対する指導力の育成や側面からの支援も会長の重要な役目です。又、経験の浅い会員に対しても広くライオンズのメンバーとしての指導力や教育を行っていく事が会長の責務です。

会長としての義務

- 1、 会員増強 期首より減にならないように。
- 2、 LCIF キャンペーン 100 の周知徹底
- 3、 1クラブからMJF 1口以上に努める。

クラブ運営

会長はライオンズ必携(国際会則、複合地区会則、クラブ会則)に基づいてクラブを運営します。同時にクラブの歴史的な歩みも理解しなければなりません。

会長には多くの職務がありますが、全ては会則とクラブの歴史を踏まえた姿勢が基本となります。クラブの歴史を重んじるあまりに過去に経験した事をいつまでも繰り返すことは、どんなに評判が良かった運営の方法でも5年10年と続けるうちに妥協を繰り返し、当初の精神が薄れることがあります。

このような事は会長によって是正され修正されなければなりません。クラブの状況を的確に把握し、クラブの成功と発展にとって最もふさわしい運営方法を選択する事が、会長の大きな役目であります。

全会員との融和

会長の個性でクラブの運営や事業が前年に比べ変化する事は、会員にとって良い結果をもたらします。

しかし会長の考え方が個性的でありすぎると、会員全員の融和を図る事が困難になる事もあります。

会員全員の融和を行う事が大切です。又、他クラブとの友好も進める必要があります。理事会で一方的に自分の方針を押し付けるのではなく、議長役に徹し、各理事の提案を整理し、クラブの方針をまとめていく手腕も求められます。

会長という立場はかなり心理的な配慮が必要な立場となります。又、会長はクラブの所属するゾーン内の地区ガバナー諮問委員会の委員になり、ゾーン内のクラブが時代に対応し、発展できるように、ゾーンチャーパーソンを補佐する義務があります。

2、クラブ幹事

『 クラブの盛衰は幹事しだい 』

クラブの盛衰は幹事によって左右されます。それだけ幹事は重要な任務を担っています。クラブの盛衰は幹事だけでなく、会長、会計、各委員長をはじめ全ての会員によって左右されますが、それを幹事によってと言われるのは、全会員の活動をより効果的に推進し、実現させるための方法を幹事が目立たないところで行っているからです。

『 幹事は会則等に精通していなければ 』

幹事は、クラブの首席執行者である会長とクラブの執行機関である理事会からそれぞれクラブの進むべき方向性を受け、その補助的な仕事が主になります。会長も理事会もクラブの活動を推進する機関であるための実質的な補助者となれば、クラブの盛衰を左右すると言われるのは当然のことです。

その為に幹事は会則やさまざまな習慣にも精通すると共に、キャビネット事務局等からの新しい情報を入手してください。

同時に、クラブ活動の全般に目を配り、クラブの前進を図りながら、全会員の和を保つ事が大切です。

『 幹事のやるべき事 』

- 1、 国際協会に対し「マンスリーレポート」「クラブ役員報告」をServannaで、「アクティビティー報告」をMyLCIで国際本部に提出。
- 2、 地区キャビネットに対する報告書類は、前述の国際本部同様にServannaで報告するものの他に、地区独自にクラブに要求する報告事項もあります。又、幹事は地区ガバナー諮問委員会の正式な委員の為、同委員会に協力しなければなりません。
- 3、 幹事はクラブの仕事が多くなり、重要でもあります。会費の請求を始めとする執行機関の補助者としての仕事、クラブのあらゆる記録の保管まで多種多様です。

大切な仕事は任期終了時に、一年間の事項を次期幹事に引き継げるようにしておく事です。

3、クラブ会計

『 理事会の承認で 』

ライオンズクラブにおける会計は、クラブの預金や現金を管理し、理事外の承認を得て支払いを行う事を主としています。会費の徴収は主に幹事が、予算案の作成は主に財務委員会、ファインドネーションの徴収にはテール・ツイスターというように、役割が分かれています。又、財政の執行者はあくまでもクラブ理事会にあります。

しかし、クラブ会計は規則上では理事会の要求によって保証金や担保を提供しなければなりません、日本のクラブでは会計にそのような責務を課す事はほとんどありません。

(必携 P)

『 現金預金の管理 』

会計は、まず現金預金の管理です。預金の場合は財務委員会から推薦され、理事会で承認を受けた金融機関にお金を預けますが、預金現金の出納は意外と神経を使う仕事だと言えます。理事会の承認を得て支払うといっても、残高の確認、支払い優先順位などを考えなくてはなりません。

収入にしても、幹事やテール・ツイスターとの連絡を密にし、常にその正確な状況を確実に把握していなければなりません。

『 理事会へ会計報告を行なう 』

会計は、毎月及び半期ごとに会計報告を理事会へ提出しなければなりません。これは、毎月報告するものと半期ごと(7月から12月までと1月から6月までの合計)に報告するものをそれぞれ提出するということで、毎月あるいは半期のどちらでも良いというものではありません。特に半期ごとの会計報告では、帳票類を揃え、理事会の指名した会員から会計監査を受ける必要がありますが、これも健全なクラブ運営には欠かせないことだと思います。

YCE（ユースキャンプ及び交換）について

（１）YCE事業の目的

ライオンズクラブ国際協会は「世界の人々の間に総合理解の精神を培い発展させる」と言うライオニズムの第 1 目的を実現する為、様々な国際交流を行っています。そしてその中でも、次世代を担う青少年に対する最も効果的な活動として青少年交換事業（YCE…Youth Camp & Exchange）を推進しています。

国際協会・国際理事が 1962 年に青少年交換プログラムの設立をしています。プログラムの目的は以下の通りです。

- ①ライオニズムを通して、国際理解と親善を促進する。
- ②異なる文化的背景を持つ家庭や地域社会の生活を体験させる。
- ③青少年に諸外国の同年代の青少年と交流する機会を与える。
- ④他国の人と接する機会を青少年に与える。

以上の事はすなわち、交換生、スポンサークラブ、ホストクラブ、家庭が全員心に留めておくもので、関係者は個人的利益を考えずにプログラムを実施するように、自らの行動に細心の注意を払わなければならない。

（２）YCE事業の歴史と今後の展望

国際交流 YE 事業は 1962 年国際理事会で決議され、現在多くの国に於いて実施されています。

その前年 1961 年に神戸とアメリカ・カリフォルニア州、ネバダ州との間に於いて行われた青少年の交換がその起源です。（日本ライオンズは YCE 事業の先駆者）近年、一般家庭、学校などでも交流機会が増え、海外体験は日常的な出来事になって来ました。それと共に YCE 事業を取り巻く環境が大きく変化し、派遣・受入れ共、減少傾向にあります。しかしながらライオンズクラブが行う、YCE 事業は単なる海外経験を積むだけのものではなく、「小さな親善大使」として文化を学ぶ機会を提供するものです。青少年にとって他国への旅、ホストファミリーでの生活、異文化体験は人生を変える程の大きな体験となり、この経験は青少年を大きく成長させます。そして、将来の国際間の理解増進、国際協調にも結びついて行くものです。YCE 事業は派遣して終わり、受入れして終わりではなく、むしろその後、生涯の及ぶ国際交流にも発展して行きます。そうならなければなりません。

(3) YCE 憲章…一部を抜粋

- ライオンズ活動の基本組織でもあるライオンズクラブが、自らの名誉と責任の下に選考し、決定したユースである。
- YCE活動の真意である「自らの日常生活をありのままに海外の家庭で示し、相互の友好はもとより、自分の人生生活の向上に役立たせる」努力を素直に実行できる意思力のあるユースである。
- 自国の優れた礼節を体得し、守る事の出来るユースである。
- 訪問国の法律を誠実に理解し、順守する意思のあるユースである。
- ホスト家庭に対して、いささかも不快、迷惑その他不都合な感情、行為を与えない事を誓約出来るユースである。
- 精神、身体健康について、いささかも不安もないユースである。
- 派遣国のライオンズYCE責任者が与えた、注意事項・指示事項を十分理解し、忠実に順守出来るユースである。

(4) 交換生の選考

- すべての応募者は交換に先立ってスポンサークラブの選考を受け、交換生及び保護者は、YCE プログラム規定を理解し、プログラムの趣旨に従う事を誓約する同意書に署名し提出する。
- 年齢は原則として 16～21 歳（派遣時）とする。
- その他、学力・語学力・応募の動機等々は YCE プログラムマニュアル（第 5 版）記載の通り。

(5) 種 類

- YCE 事業では、
- ①一般交換…Youth Exchange
 - ②直接交換…Special Request
 - ③国際ユースキャンプ…International Youth Camp
- 3 種類で実施です。

現在は①③を併せ Youth Camp & Exchange として実施されています。

- *通常 336-D地区では①に2泊3日程度のミニキャンプを実施しています。
- *予算的にゆるされれば、YCE 委員長方針で、336 複合と共催、或いは他複合とも可能です。(7) …④
- *②で、諸外国との姉妹或いは友好締結クラブと周年行事に併せて実施しています。

(6) 運 営

YCE 事業は国際協会の YCE プログラムに則って実施される、単一クラブのアクティビティです。

YCE 事業は「派遣」「受入」の2つの作業から成立する。これからはどちらも不可欠な作業ではあるが、それぞれ独立した業務として捉えるものです。受入を不平に感じたり、派遣した事によって受入に義務を感じたりするのは、この原則に反しているだろう。各クラブは「派遣」と「受入」のそれぞれにおいて、優れた国際感覚を発揮することが必要です。

(7) 地区 YCE 委員会の任務

地区 YCE 委員会は YCE 委員長の招集によって、ガバナーの基本方針に沿って行われる委員会に委員は必ず出席すること。任務は以下の通り。

- ①地区内の YCE 委員長に対し、YCE についての各種情報を提供する。情報は、YCE の意義、歴史、実施要領及び地区内の状況などが中心となる。
- ②単独で YCE 事業を実施しようとするクラブに対し、協力・援助を行う。
- ③地区内の単一クラブが連携して YCE 事業を実施する場合、その要領を準備する。
- ④他地区と連携して YCE 事業を行う場合は、複合地区 YCE 委員会を通して、他地区との連携を行う。

(8) YCE 事業の MD336・海外窓口

MD336 ではアメリカ マサチューセッツ州、ミクロネシア、台湾との海外窓口になっていますが、現在は台湾のみとなっていて他はあまり交渉がなく休眠状態で

す。受入は毎年7月中旬よりおよそ3週間、35～40名程度受入、担当窓口としては、YCE生を到着空港に出迎えし、全国の受入れ先迄届ける任務があります。又、引率して来る台湾役員との交流があります。派遣については、毎年8月初旬よりおよそ3週間、ここ数年は多くても10名程度の派遣で、派遣より受入の方が多く、今少し派遣を増員して派遣事業の更なる発展が望まれます。

冬期派遣受入れも同じ扱いですが、期間も短く毎年正月を挟んで2・3週間で実施しています。

(9) 日本ライオンズ 8複合でのYCE海外窓口・略号一覧表

…次頁の通り。

*本事業も国際的にキャンプが主流になり「国際協会青少年交換プログラム」は「国際協会キャンプ及び青少年交換プログラム」に統合され、青少年交換委員長(YE委員長)の役職は青少年キャンプ及び交換委員長(YCE委員長)となった事をご承知の通りです。

MD336YE プログラムマニュアル〈第5版〉は2008年4月発行で既に11年を経過していて、改訂が望まれます。

*本資料はMD336・YE プログラムマニュアル〈第5版〉を基に、ライオンズクラブ役員必携他関連の文献と、数回の研修資料を参考に編集、更に加筆・削除し、短時間に理解し易い研修資料として編集しています。

編集について不都合な部分があればご容赦願います。

2019.5 文責 山根 健

(9) YCE海外担当窓口・略号一覧表

アメリカ方面		
国名	略号	窓口
MD4 *1	CA	330
ハワイ(CAMP)	HI CAMP	330
アラスカ	AK	331
メイン		331
コロラド	CO	332
オクラホマ	OK	332
テキサス	TX	332
アーカンソー	AR	333
ミズーリ	MO	333
ネブラスカ	NE	333
サウスカロライナ	SC	333
MD5 *2	SD	333
ユタ	UT	333
アイオワ(CAMP)	IA	335
イリノイ	IL	335
アリゾナ	AZ	335
アリゾナ(CAMP)	AZ CAMP	335
コネチカット	CT	335
フロリダ	FL	335
アイダホ	ID	335
インディアナ	IN	335
ケンタッキー	KY	335
モンタナ	MT	335
ミシガン	MI	335
メリーランド	MD	335
ノースカロライナ	NC	335
ニューヨーク	NY	335

国名	略号	窓口
オレゴン	OR	335
ペンシルバニア(CAMP)	PA CAMP	335
テネシー	TN	335
バーモント	VT	335
バージニア(CAMP)	VA CAMP	335
アラバマ		335
ノースウェストテリトリー		335
マサチューセッツ	MA	336
ジョージア	GA	337
カンサス	KS	337
ミネソタ	MN	337
ウィスコンシン	WI	337
ウエストバージニア	WV	337
中南米		
ペルー	Peru	335
メキシコ	MX	333
ブラジル	BZ	333
アルゼンチン	AG	333
カナダ		
国名	略号	窓口
MD19 *3	WA	335
アルバータ	AB	335
アルバータ(CAMP)	AB CAMP	335
マニトバ	MB	335
ノースコシア	NS	335
ケベック	QU	335
オンタリオ(CAMP)	ON	335
ユーコン	YU	335

オセアニア		
国名	略号	窓口
オーストラリア	A	335
オーストラリア(CAMP)	A CAMP	335
ニュージーランド	NZ	335

ヨーロッパ方面		
国名	略号	窓口
フランス	F	334
ドイツ	G	334
オーストリア	AS	334
イギリス&アイルランド	E	334
スイス	S	334
デンマーク	D	334
スウェーデン	SW	334
ノルウェー	N	334
フィンランド	FN	334
アイスランド	IC	334
オランダ	H	334
ベルギー	B	334
イタリア	IT	334
ルクセンブルグ	LU	334
ギリシャ	GR	334
スペイン	SP	334
ポルトガル	PT	334
エストニア	ES	334
チェコ&スロバキア	CS	334
ロシア	RS	334
ウクライナ	UKR	334
ルーマニア	RO	334

国名	略号	窓口
スロベニア	SL	334
クラアチア	CR	334
トルコ	TK	334
イスラエル	IS	334
マケドニア		334
ポーランド	PO	333
ハンガリー	HU	333

アジア		
国名	略号	窓口
香港	HK	330
モンゴル	MN	330
タイ	TH	330
カンボジア		332
フィリピン	PH	333
インド	INDIA	333
ネパール	NP	333
マレーシア	ML	335
韓国	KR	335
インドネシア	IND	335
台湾	RC	336
シンガポール	SY	337

*1 カリフォルニア

*2 ノースダコタ、サウスダコタ、サスカチュワン

*3 ブリティッシュコロンビア、ワシントンDC、コロンビア



ライオンズクラブの IT環境について

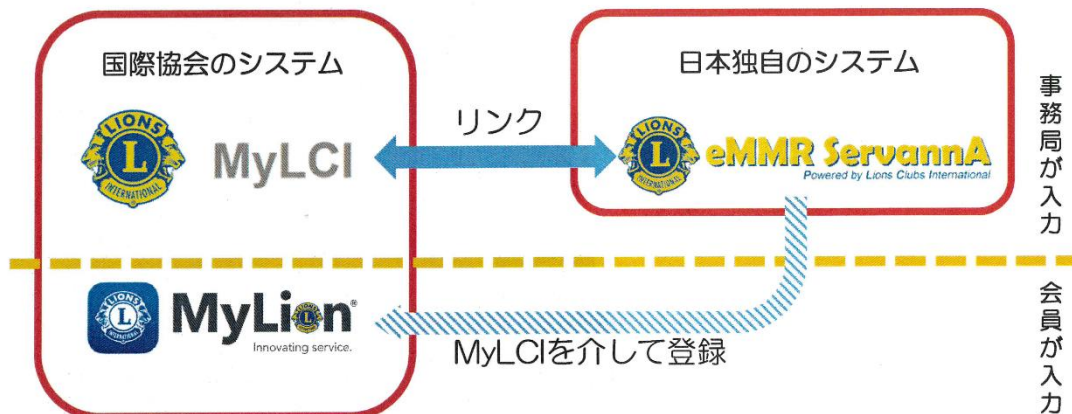
2019年6月8日（土）：1～3R 出雲ロイヤルホテル
2019年6月16日（日）：4～7R シーモールパレス
336-D地区 クラブ3役研修会



近年ライオンズクラブを取り巻く
IT環境がめまぐるしく変化しています
2019年も大幅な変更が見込まれます

まずは 現在運用しているシステムを
紹介いたします

ライオンズクラブのIT環境について（現状）



※本来は「MyLCI」も「サバンナ」も幹事が管理しないといけないが、実際は会長・幹事のID・パスワードでログインし、事務局が入力をしているクラブが多くみられる。



eMMR ServannA
Powered by Lions Clubs International



- 通称 サバンナ と呼んでいる 日本独自のシステムです
- 日本のほとんどの事務局がこのシステムを使用しています
- 国際協会への様々な報告も サバンナ を介して行われています

現在『My LCI』にリンクしており、会員動静・LCIF寄付金・アクティビティ報告・役員の登録・地区費などの請求・ライオン誌送付業務など様々な役目を担っています
会長・幹事のID・Pass（役職権限が必要）でログインし事務局が入力しています

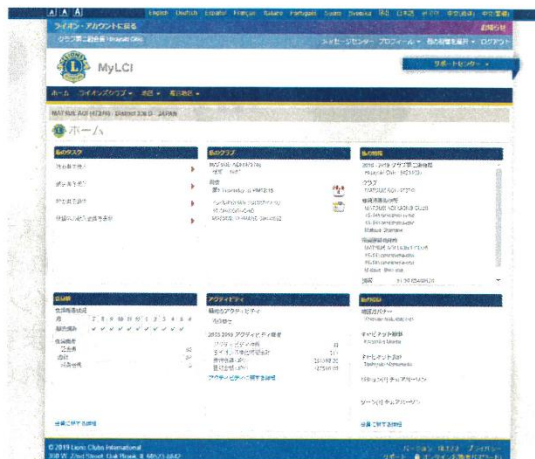


MyLCI



- 通称 マイ エルシーアイ と呼んでいる 国際協会のシステムです
- 世界のライオンズクラブの情報（会員情報）が管理されています
- 近年 日本語にも対応してきたが、まだローマ字で表示されている

現在『サバンナ』にリンクしており、
会員動静・LCIF・アクティビティ報
告・役員の登録などクラブ情報や、
準地区・複合地区の情報もこのシス
テムで管理されています。
会長・幹事のID・Passでログインし
事務局が入力しています。
誰でも登録すればログインできま
すが、役職により閲覧ページが限ら
れます。



MyLion®

Innovating service.



- 通称 マイ ライオン と呼んでいる 国際協会のアプリです
- 昨年から日本でも使えるようになり、全員の登録が不可欠です
- 最近Web版（PC版）もでき、スマホ・タブレット・PCで使えます

サバンナ・MyLCIとは違い会員個
人の任意のパスワードでログイン
するので事務局は原則使えません。
本年**7月**からアクティビティの報
告は **My Lion のみ!** になります。
次年度会長・幹事・事業委員長は
いますぐ登録をお願いします!
登録方法などの詳細は、山口県/
志賀・島根県/大木までご連絡く
ださい。



現状のIT環境の中で 最近(3月28日)変更になったシステムを ご紹介します



MyLCI



MyLion®
Innovating service.

国際協会が運営する上記2つのシステムのログイン方法が変わりました。今まで「MyLCI」「MyLion」などはそれぞれのアカウントを作成してログインしていましたが、新しい「統一ログインシステム」として「ライオン・アカウント」採用されましたのでご周知願います。今後もいくつかの新しいオンライン情報資料がスタートしますが、これらすべてのログインに「**ライオン・アカウント**」が必要となります。

国際協会では、新しい統一ログインシステムを採用しました。ライオン・アカウントのユーザー名とパスワードで、MyLCI・MyLion・Shop・Insightsといった、全てのライオンズ・アプリケーションにアクセスできるようになりました。

➤注意！：MyLionに登録してる方は、そのID・Passで入れますが、まだの方は新たな登録が必要となります。



さらに2019年度(7月以降)
変更になになるシステムを
ご紹介します



2019年4月に発表されたばかりで
まだ全容がつかめていませんが
とても重要な変更ですのでご紹介します
また、詳細等分かり次第各クラブに
ご案内いたします

ライオンズクラブのIT環境について（予定）



※サバンナはスタンド・アロンの国内システムとして当面残ります。
但し、MyLCIとは11月20日以降リンクしません。
また今後アップデート・アップグレードはしない予定です。

ライオンズクラブのIT環境について（予定）



MyLCI のアップデートについて

- マイ エルシーアイ は直接入力できるようアップデートします
【アップデートの内容】
- 事務局員の正式登録ができます
- 会員名・住所など日本語入力・表示に対応
- クラブ名・住所など日本語入力・表示に対応
- 個人に紐付されないクラブ情報入力・表示に対応
- 個人に紐付されない準地区・複合地区の情報入力・表示に対応
（リジョン・ゾーンを含む）
- 10月中にアップデートに伴う研修及び周知を行います
- 11月20日 全面使用開始 （サバンナは切り離されます）

ライオンズクラブのIT環境について



- 【まとめ】
- サバンナとMyLCIの切断は国際本部主導で行われる
- 一連の流れはまだ正式に各クラブには通達が来ていない
- 11月20日以降もサバンナは残るがリンクはしない
- サバンナの運営費用はライオン誌の経費で負担する予定
- 今後、詳細な情報が発信され次第、各クラブにお知らせする
- 今回のIT環境の変更は事務局業務に大きな負担がかかります
幹事は事務局と連携を密にして今後に備えていただきたい
- 事務局員がいないクラブは、キャビネットや親クラブと連携
- クラブ会長・幹事・事業委員長は My Lion の登録を早急に

ライオンズクラブのIT環境について



【ご相談・お問い合わせは】

山口県側

島根県側

336-D地区 IT特別委員長

336複合地区 IT特別委員

志賀光法

大木寿之

(宇部新川LC)

(松江葵LC)

genki@city-ube.jp

ohki@sanin-ad.jp

090-7507-6079

090-8248-0628



2019-2020 年
ライオンズクラブ国際協会 336-D地区
キャビネット事務局

〒693-0011 島根県出雲市大津町 1131-1 出雲商工会館 4F

TEL:0853-25-7814 FAX:0853-25-7815

E-mail: d336-izumo@eagle.ocn.ne.jp